

第4章 生活活動・運動の状況

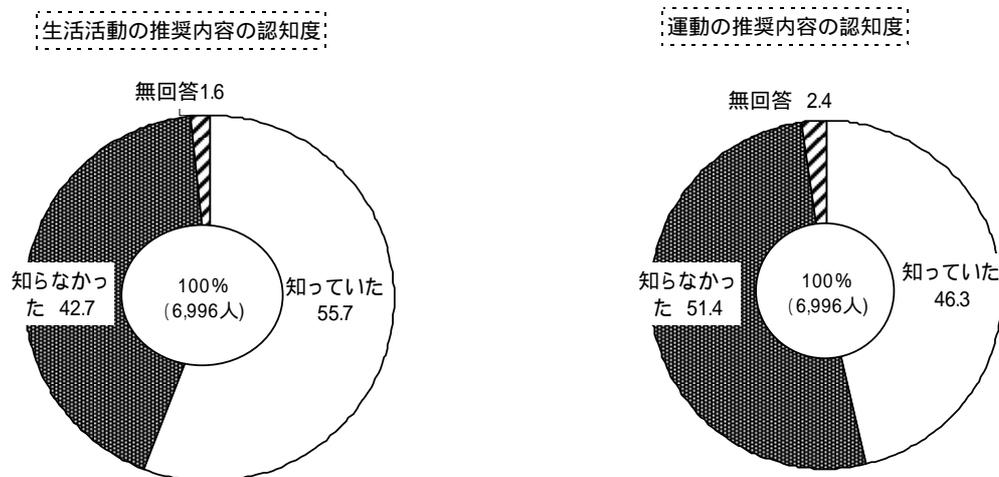
1 生活活動・運動の推奨内容の認知度

健康の維持・増進のために「生活活動（日常生活で体を動かすこと）」の推奨内容を知っているかどうか尋ねたところ、生活活動の推奨内容を「知っていた」は55.7%、「知らなかった」は42.7%であった。また、運動の推奨内容を「知っていた」は46.3%、「知らなかった」は51.4%であった。（図 -4-1）

問 健康の維持・増進のために、以下のような内容の「生活活動(日常生活で体を動かすこと)」「運動」が推奨されています。あなたはこの内容を知っていましたか？また、これを実行していますか？

生活活動	運動
日常生活で、毎日合計60分くらい体を動かす（歩く、自転車に乗る、体を動かして作業を行うなど）ような生活をする。	速歩のようなやや強い運動（1）を1週間で合計60分間程度、ジョギングのような強い運動（2）ならば合計35分間程度行う。

図 -4-1 生活活動・運動の推奨内容の認知度



1 やや強い運動の例

ウォーキング（速歩）、ジャズダンス、バスケットボール、水泳（ゆっくり）、水中運動（アクアビクスなど）、太極拳、卓球、ソフトボール、野球、ウェイトトレーニング、（高強度）、ゴルフ（カートを使わない場合）など

2 強い運動の例

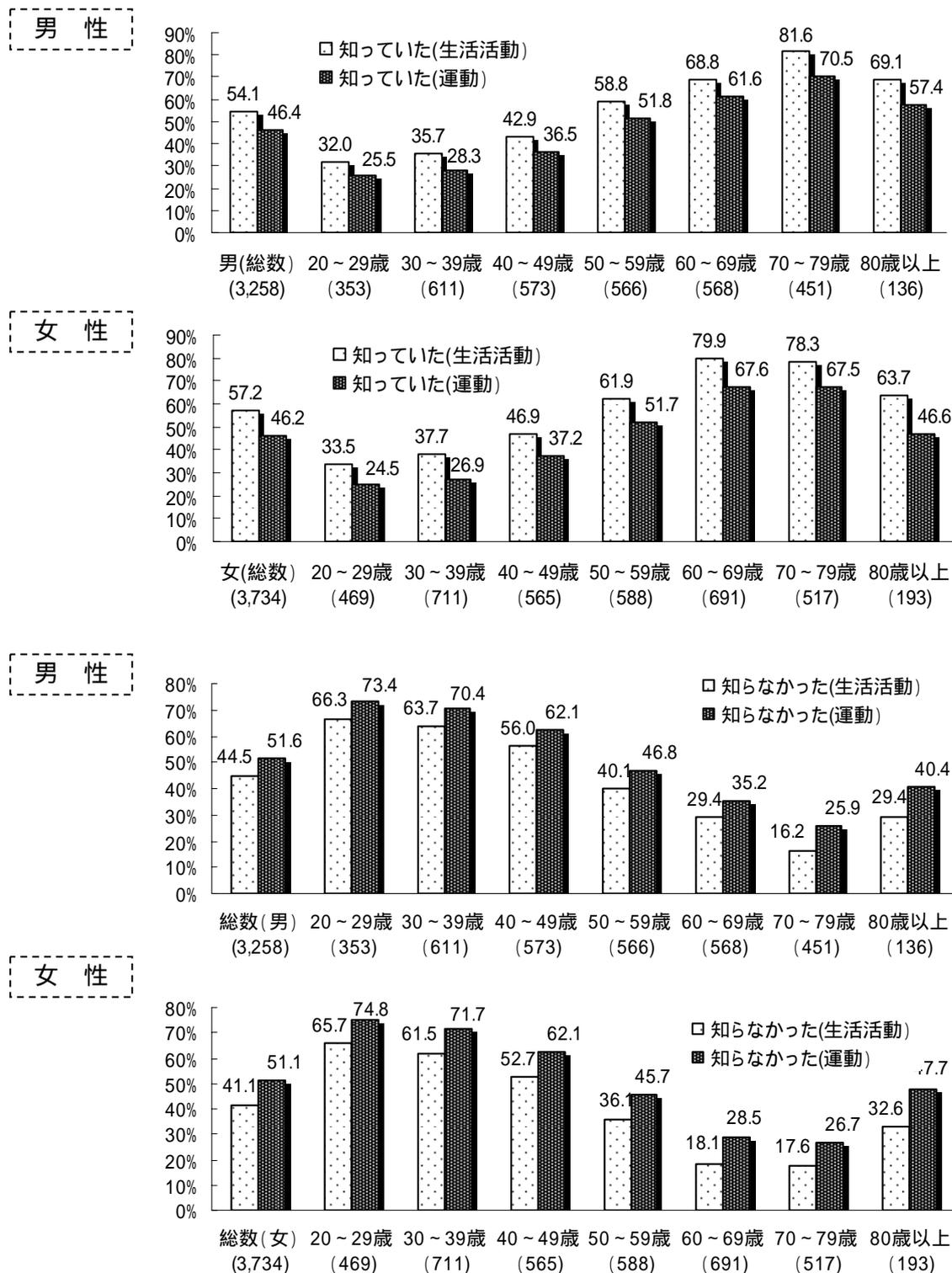
ジョギング、エアロビクス、サッカー、テニス、スキー、スケート、水泳、登山、柔道、空手など

(1) 生活活動・運動の推奨内容の認知度 - 性・年齢階級別

生活活動・運動の推奨内容の認知度は20代が最も低い。

生活活動・運動の推奨内容を「知っていた」は、年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向にある。一方、「知らなかった」の割合は20代が高く、認知度が低い。(図 -4-2)

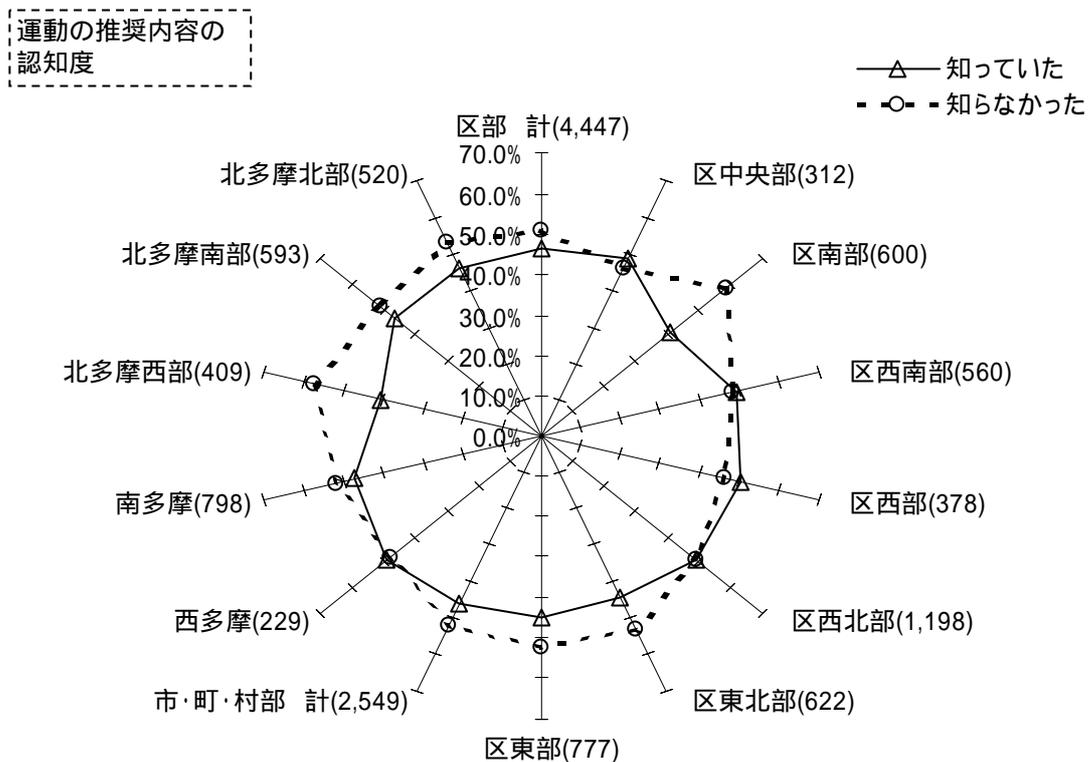
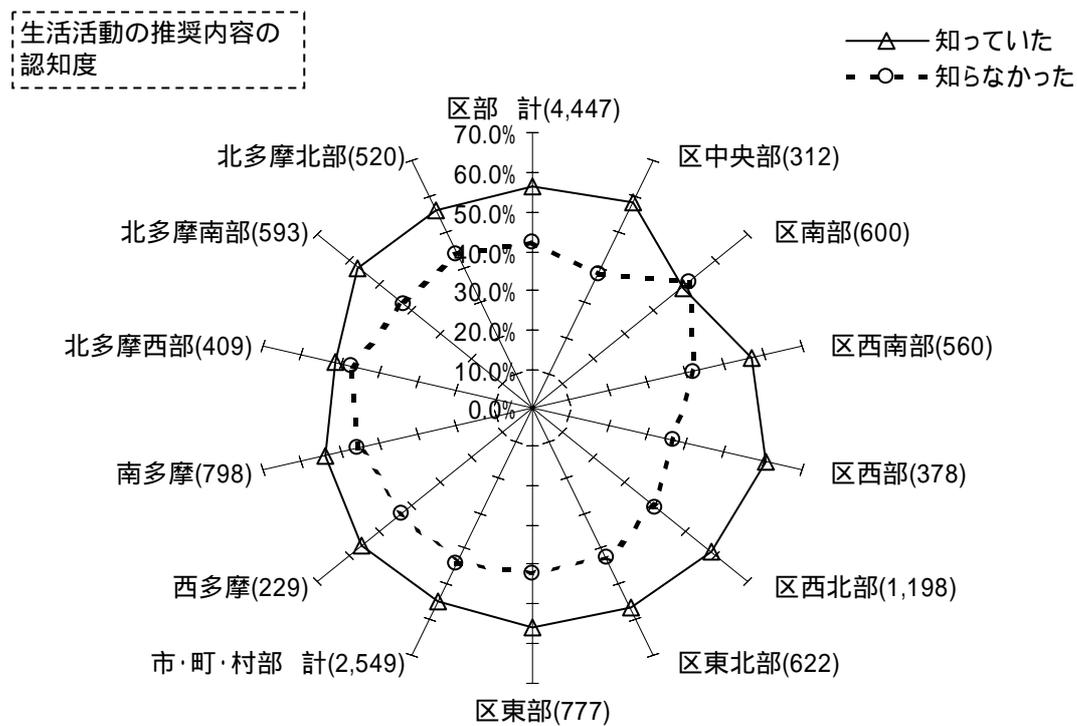
図 -4-2 生活活動・運動の推奨内容の認知度 - 性・年齢階級別



(2) 生活活動・運動の推奨内容の認知度 - 地域別

生活活動・運動の推奨内容を「知っていた」割合を地域別にみると区西部（新宿、中野、杉並区）が生活活動・運動ともに高くなっている。(図 -4-3)

図 -4-3 生活活動・運動の推奨内容の認知度 - 地域別

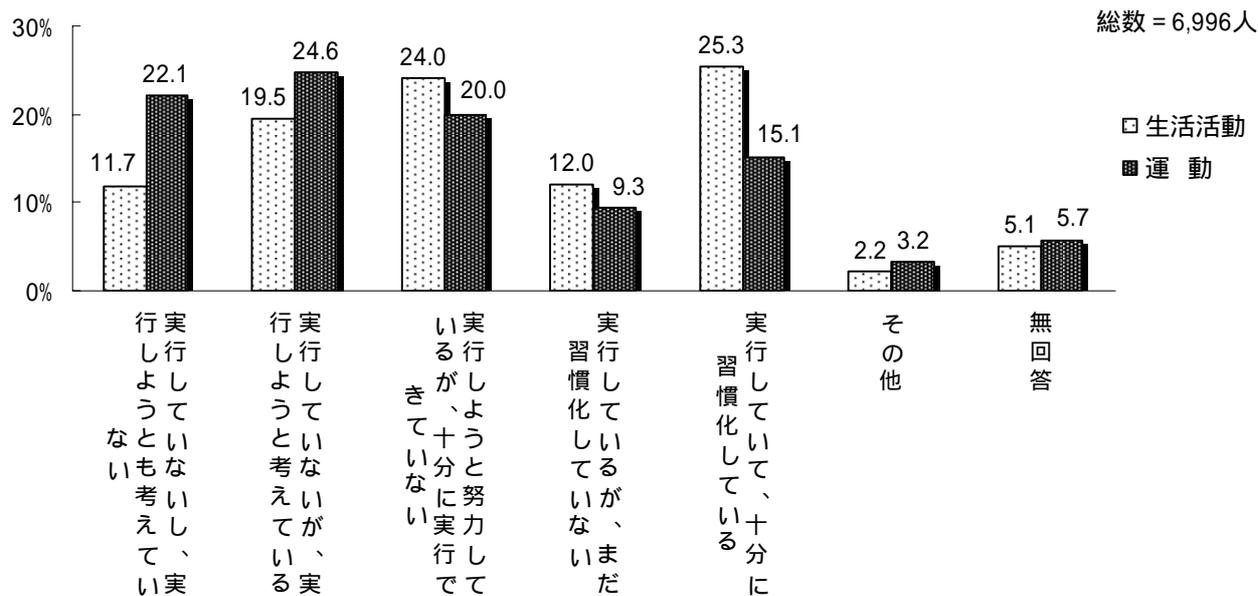


2 生活活動・運動の推奨内容の実行度

また、生活活動の推奨内容と運動の推奨内容の実行の程度を尋ねたところ、生活活動の推奨内容は、「実行していて十分に習慣化している」が25.3%で最も高い。

一方、運動の推奨内容は、「実行していないが、実行しようと考えている」が24.6%と最も高くなっている。(図 -4-4)

図 -4-4 生活活動・運動の推奨内容の実行度



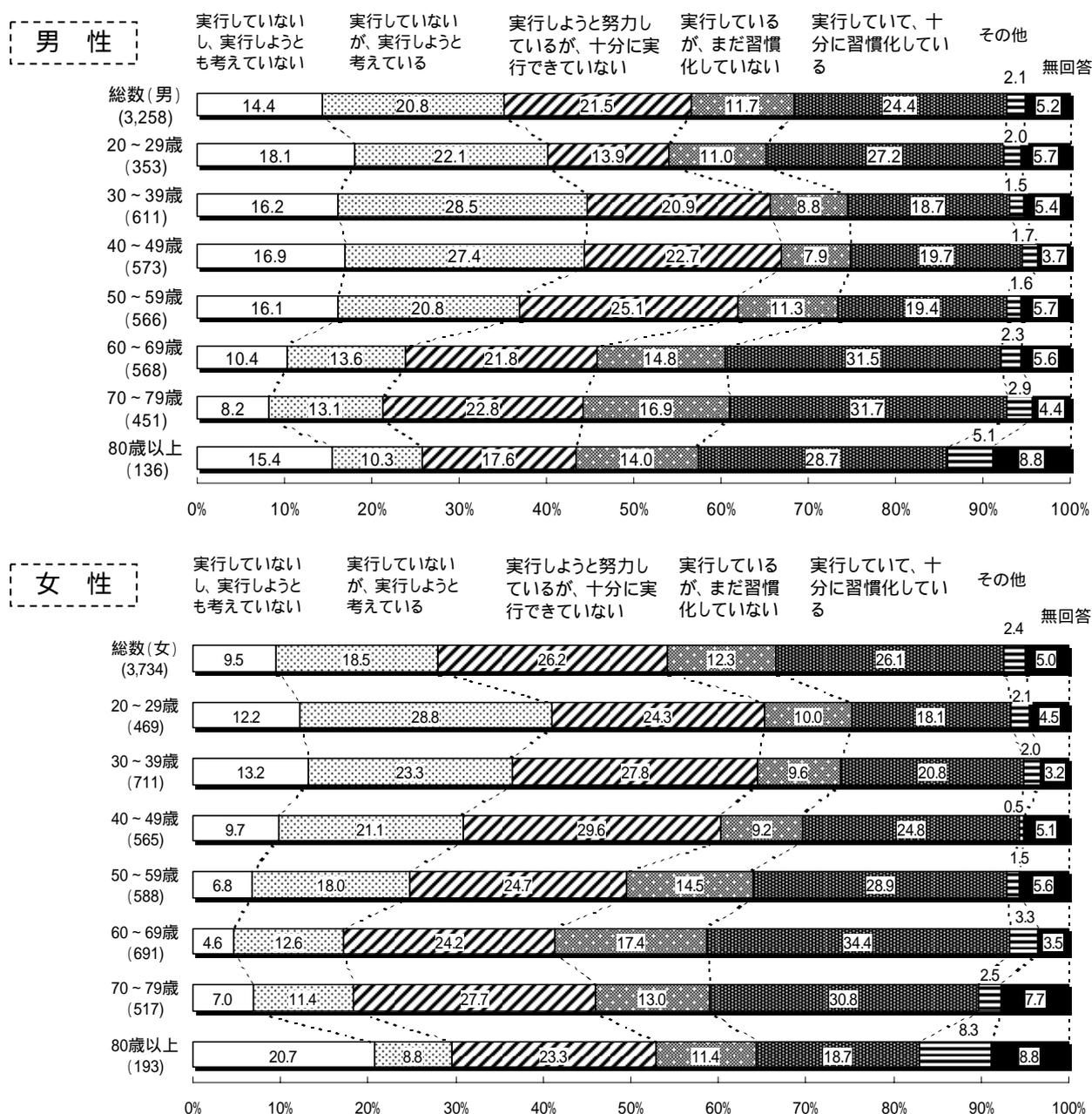
(1) 生活活動の推奨内容の実行度 - 性・年齢階級別

生活活動の推奨内容は、男性よりも女性のほうが実行しようと努力している意識が高い。

生活活動の推奨内容について性別で見ると「実行しようと努力しているが、十分に実行できていない」割合は、男性(21.5%)よりも女性(26.2%)の方が4.7ポイント高い。また、「実行していないし、実行しようとも考えていない」の割合は、女性(9.5%)よりも男性(14.4%)の方が4.9ポイント高く、男性よりも女性の方が実行しようと努力している意識が高いことが伺える。

「実行していて、十分に習慣化している」割合は、男女ともに60代、70代で3割を超えている。(図 -4-5)

図 -4-5 生活活動の推奨内容の実行度 - 性・年齢階級別

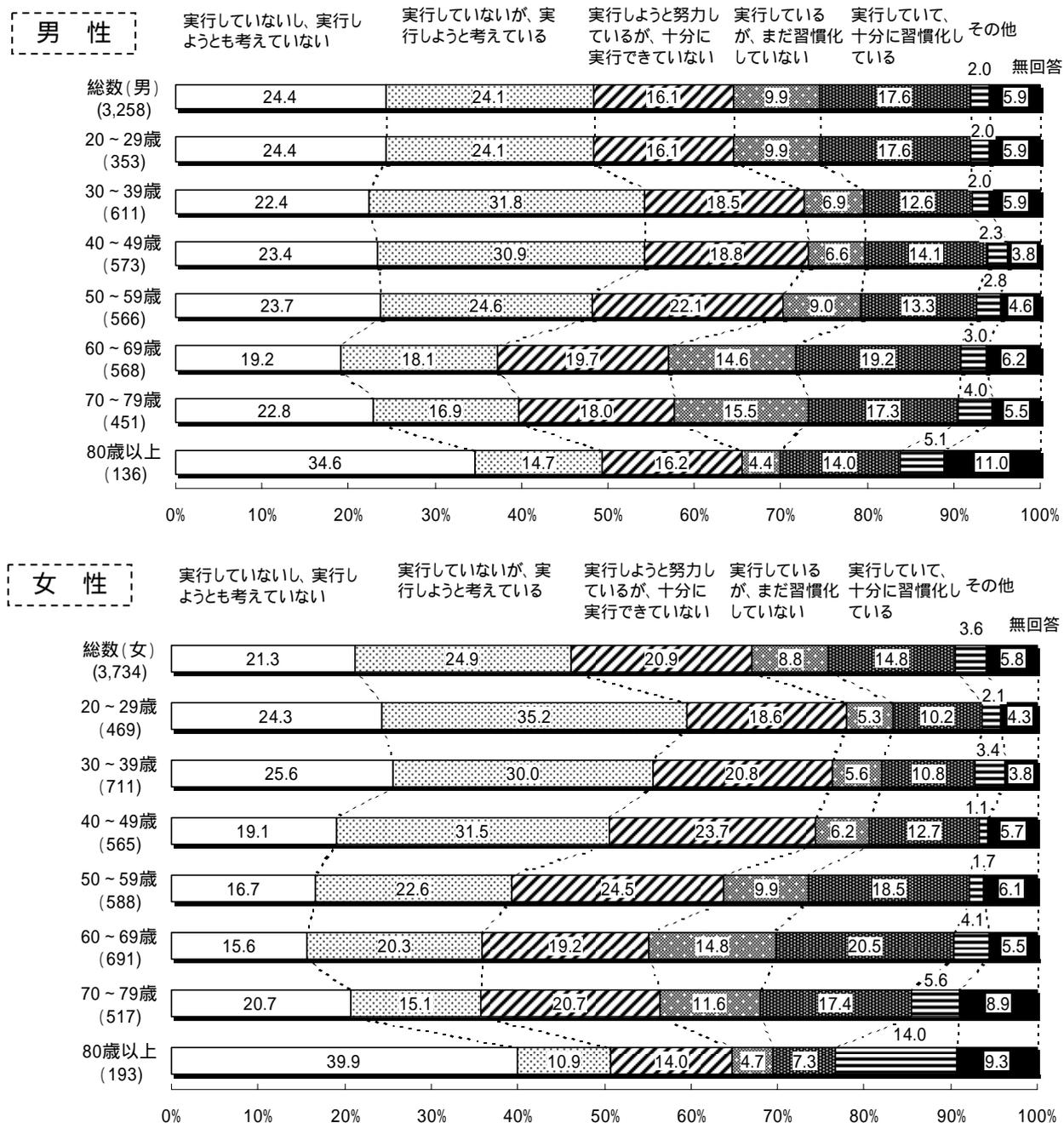


(2) 運動の推奨内容の実行度 - 性・年齢階級別

20代の女性の3人に1人は、運動の推奨内容を実行していないが実行しようと考えている。

運動の推奨内容について性別で見ると男性では「実行していないし、実行しようとも考えていない」割合(24.4%)が最も高く、女性では「実行していないが、実行しようと考えている」の割合(24.9%)が最も高い。女性の20代の3人に1人は、実行していないが、実行しようと考えている。(35.2%) (図 -4-6)

図 -4-6 運動の推奨内容の実行度 - 性・年齢階級別



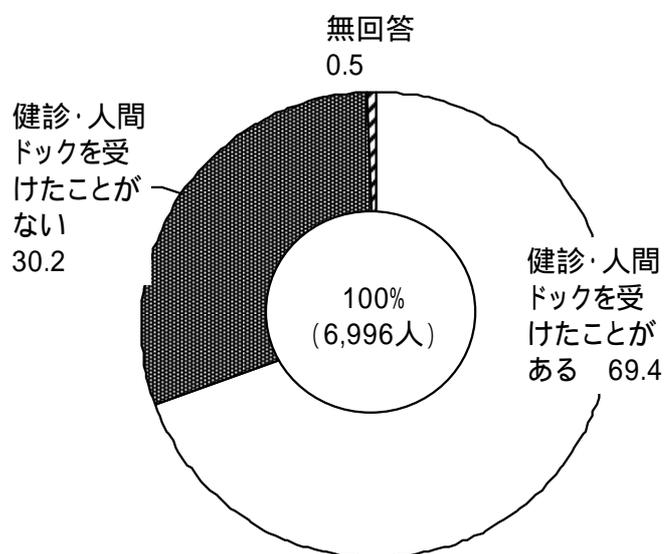
第5章 健診の状況

1 健診・人間ドックの受診の有無

過去1年間に健診（注）・人間ドックを受診したことが「ある」と回答した人は69.4%と約7割であった。（図 -5-1）

問 あなたは過去1年間に、健診（健康診断や健康診査）や人間ドックを受けたことがありますか。

図 -5-1 健診・人間ドックの受診の有無



（注）・区市町村が実施する健診（基本健康診断、誕生月健診など）を含む。

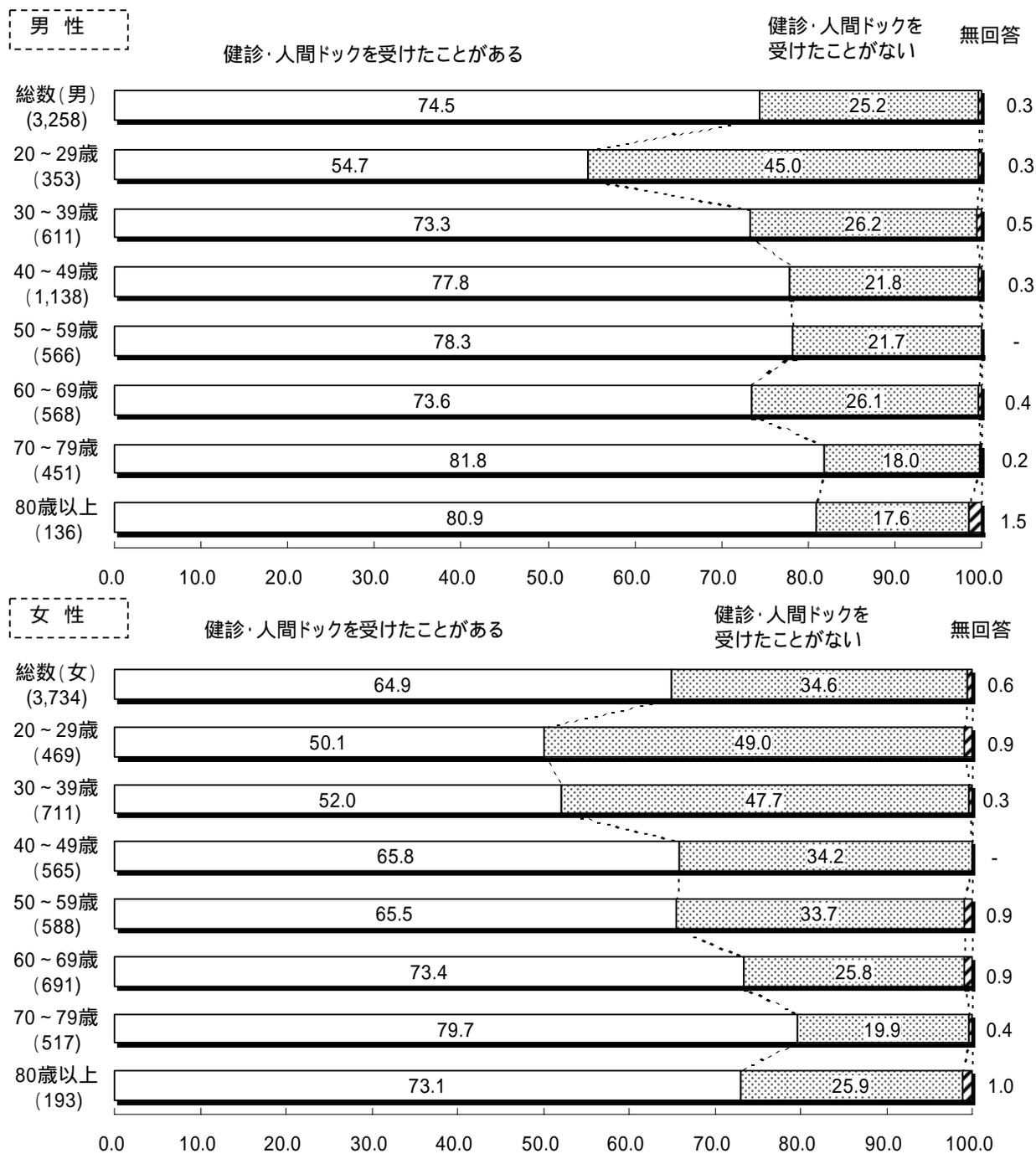
- ・がんのみの検診、妊産婦検診、歯の健康診査、病院や診療所で行う診療としての検査は、含まない。

(1) 健診・人間ドックの受診の有無 - 性・年齢階級別

20代女性は健診・人間ドックの受診は半数

過去1年間に健診・人間ドックの受診を受けたことが「ある」の割合を性別で見ると、男性は74.5%、女性は64.9%であった。性・年齢階級別では、健診・人間ドックの受診を受けたことが「ある」の割合は、男女ともに60歳以上が7割以上である。一方、受診率が低いのは男女ともに20代で、特に女性の20代は50.1%と半数しか受診していない。(図 -5-2)

図 -5-2 健診・人間ドックの受診の有無 - 性・年齢階級別



(2) 健診・人間ドックの受診の有無 - 就業状況別

仕事を探していた人や学生、専業主婦は、就業者と比べて健診・人間ドックの受診率が低い。

過去1年間の健診・人間ドックの受診の有無を就業状況別にみると、健診・人間ドックを受けたことが「ある」の割合は、就業者のうち主に仕事をしている人が75.3%と高い。

一方、健診・人間ドックを受けたことが「ない」の割合は、仕事を探していた人が66.4%と最も高く、次いで非労働力人口のうち通学のみ(47.9%)と家事(専業)(40.1%)が続いている。仕事を探していた人や学生、専業主婦は就業者に比べて、健診・人間ドックの受診率が低いことが分かる。(表 -5-1)

表 -5-1 健診・人間ドックの受診の有無 - 就業状況別

	総 数	受 健 診 た ・ こ と 間 が ド ッ ク を あ る	受 健 診 た ・ こ と 間 が ド ッ ク を な い	無 回 答
総数	100.0 (6,996)	69.4	30.2	0.5
就業者	100.0 (4,303)	72.9	26.8	0.3
主に仕事	100.0 (3,381)	<u>75.3</u>	24.3	0.3
家事などのほかに仕事	100.0 (749)	64.6	35.2	0.1
通学のかたわらに仕事	100.0 (78)	61.5	38.5	-
その他	100.0 (95)	63.2	36.8	-
仕事を探していた	100.0 (113)	32.7	<u>66.4</u>	0.9
非労働力人口	100.0 (2,534)	65.0	34.3	0.7
家事(専業)	100.0 (1,337)	59.1	<u>40.1</u>	0.8
通学のみ	100.0 (117)	52.1	<u>47.9</u>	-
その他 (幼児、高齢・病気等)	100.0 (1,080)	73.6	25.7	0.6

(3) 健診・人間ドックの受診の有無 - 生活活動・運動の推奨内容の認知度別

生活活動・運動の推奨内容を知っていた人では「健診・人間ドックを受けたことがある」の割合が高い。

過去1年間の健診・人間ドックの受診の有無について生活活動・運動の推奨内容の認知度別にみると、「健診・人間ドックを受けたことがある」割合は、生活活動・運動ともに推奨内容を「知らなかった」よりも「知っていた」の人の方がそれぞれ約10ポイント高い。(-5-3、-5-4)

図 -5-3 健診・人間ドックの受診の有無 - 生活活動の推奨内容の認知度別

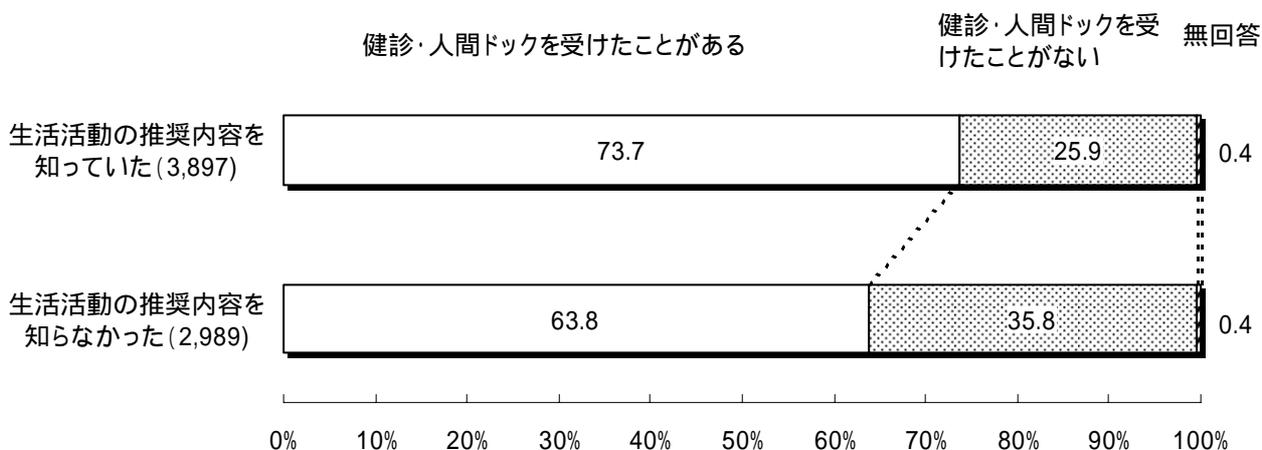
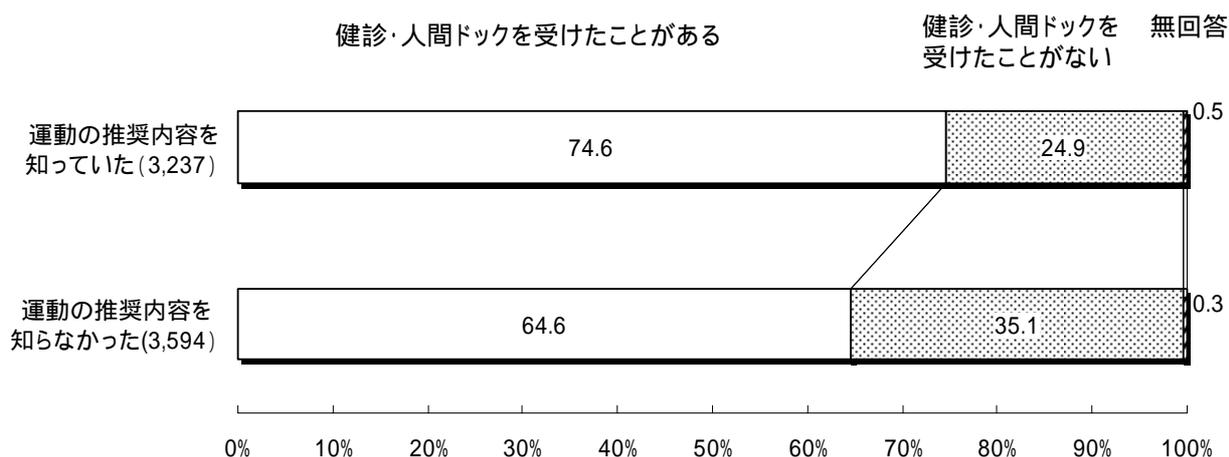


図 -5-4 健診・人間ドックの受診の有無 - 運動の推奨内容の認知度別



2 健診結果の指摘の有無と指摘の内容

過去1年間に健康・人間ドックを受診したことがある人のうち、「肥満」「高血圧症」「糖尿病」「血中の脂質異常(注)」のいずれかの指摘を受けたものは47.4%と5割弱にのぼった。(図-5-5) また、健診結果で「指摘あり」と回答した2,298人の指摘の内容をみると、「高血圧症」の割合が最も高く47.2%、次いで「血中の脂質異常」が41.0%、「肥満」が29.8%と続いている。(図-5-6)

問 健診の結果、次のような(肥満、高血圧症、糖尿病、血中の脂質異常)指摘を受けましたか。

図 -5-5 健診結果の指摘の有無

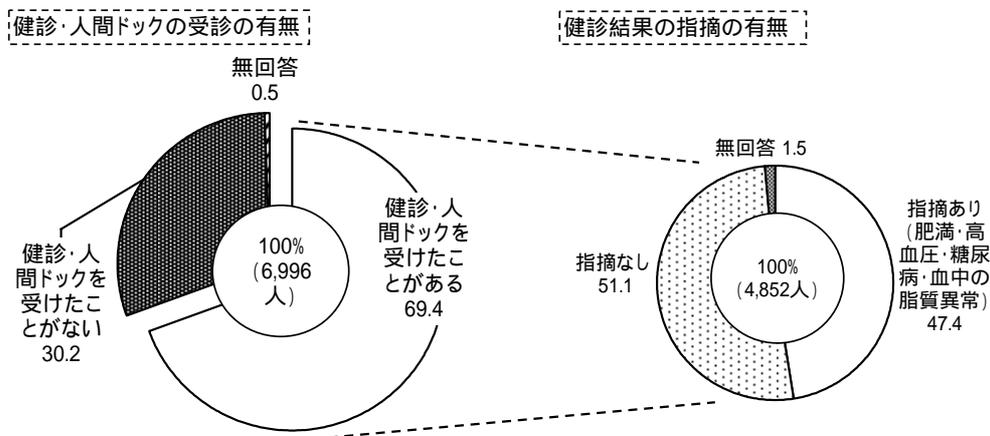
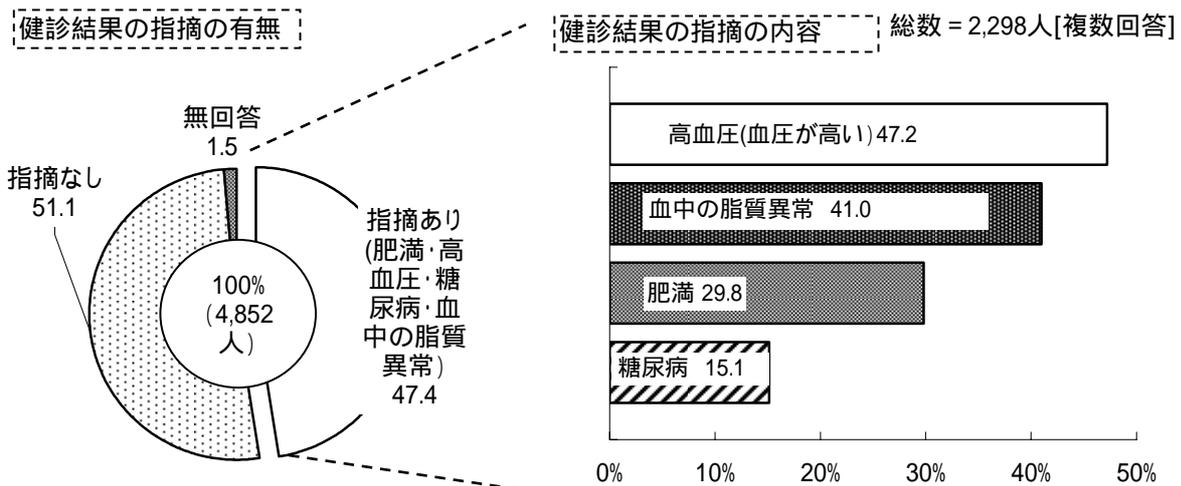


図 -5-6 健診結果の指摘の内容



(注) 血中の脂質異常とは次のいずれかを指す。

- ・総コレステロール、LDL(悪玉)コレステロールや中性脂肪(トリグリセライド)が高い
- ・HDL(善玉)コレステロールが低い。

(1) 健診結果の指摘の有無と指摘の内容[複数回答] - 性・年齢階級別

健診結果の「指摘あり」の割合は、女性よりも男性の方が高く、指摘の内容の「肥満」は男性30代、40代で2割以上

健診結果の指摘の有無を性別でみると、「指摘あり」の割合は女性(42.2%)よりも男性(52.6%)の方が高い。また、指摘の内容の「肥満」の割合は、男性の30代、40代が高く2割を超えている。65歳以上の高齢者では、「指摘あり」の割合は63.2%と総数よりも15ポイント以上高く、その中では特に「高血圧」(39.2%)と「糖尿病」(12.7%)の割合が高くなっている。(表 -5-2)

表 -5-2 健診結果の指摘の有無と指摘の内容[複数回答] - 性・年齢階級別

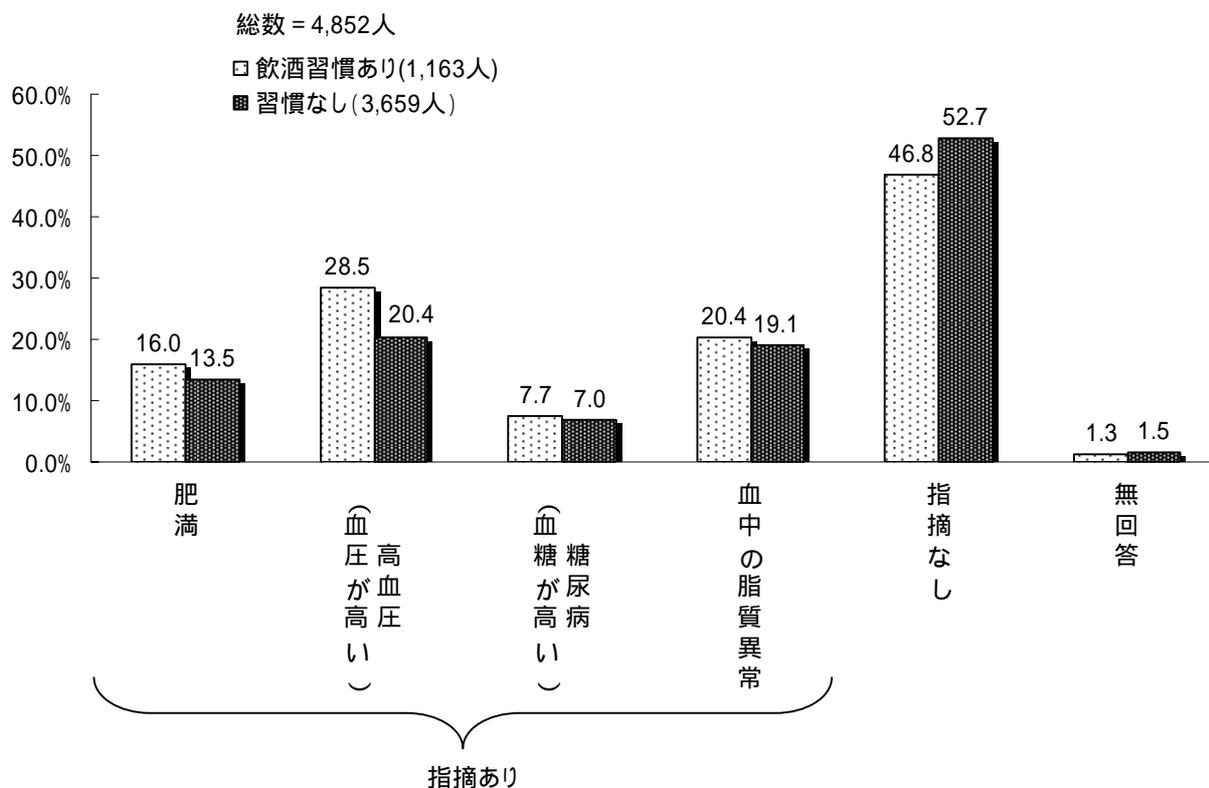
	総 数	指 摘 あ り	肥 満	い (高 血 圧 が 高	い (糖 尿 病 が 高	常 血 中 の 脂 質 異	質 尿 満 指 摘 な し (尿 病 ・ 高 血 圧 ・ 肥 満 ・ 中 の 脂 糖	無 回 答
総数	100.0 (4,852)	47.4	14.1	22.4	7.2	19.4	51.1	1.5
男	100.0 (2,427)	52.6	17.2	25.6	8.8	20.7	46.1	1.2
20～29歳	100.0 (193)	11.4	8.8	2.1	0.5	3.1	86.5	2.1
30～39歳	100.0 (448)	37.7	21.2	7.4	2.0	18.1	61.8	0.4
40～49歳	100.0 (446)	51.3	21.5	14.3	4.5	28.7	48.0	0.7
50～59歳	100.0 (443)	62.5	19.4	33.2	11.7	27.1	36.3	1.1
60～69歳	100.0 (418)	62.7	17.2	40.2	11.7	20.6	36.1	1.2
70～79歳	100.0 (369)	66.7	11.7	41.5	17.9	18.4	30.6	2.7
80歳以上	100.0 (110)	65.5	8.2	47.3	14.5	12.7	33.6	0.9
女	100.0 (2,422)	42.2	11.0	19.2	5.6	18.1	56.1	1.8
20～29歳	100.0 (235)	11.9	5.5	1.7	-	5.1	87.2	0.9
30～39歳	100.0 (370)	15.4	6.2	0.8	0.8	8.9	83.5	1.1
40～49歳	100.0 (372)	27.2	10.8	5.1	3.2	14.8	72.3	0.5
50～59歳	100.0 (385)	46.2	13.0	17.9	5.2	23.9	51.4	2.3
60～69歳	100.0 (507)	57.8	14.2	27.0	6.5	26.4	39.6	2.6
70～79歳	100.0 (412)	64.8	13.8	38.3	12.4	23.1	33.0	2.2
80歳以上	100.0 (141)	68.8	8.5	52.5	11.3	12.8	28.4	2.8
(再掲)総数65歳以上	100.0 (1,551)	63.2	13.0	39.2	12.7	19.5	34.4	2.3
男 65歳以上	100.0 (731)	64.6	13.1	41.3	15.3	18.2	33.5	1.9
女 65歳以上	100.0 (820)	62.1	12.8	37.3	10.4	20.6	35.2	2.7

(2) 健診結果の指摘の有無と指摘の内容[複数回答] - 飲酒習慣の有無別

飲酒習慣がない人よりも飲酒習慣がある人の方が健診結果で指摘あり（肥満、高血圧、糖尿病、血中の脂質異常）の割合が高い。

健診結果の「指摘あり」の内容を飲酒習慣の有無別にみると、「肥満」「高血圧」「糖尿病」「血中の脂質異常」の割合は、いずれも飲酒習慣なしと比較して飲酒習慣ありの方が高い。一方、「指摘なし」の割合は、飲酒習慣ありと比べて飲酒習慣なしの方が高くなっている。(図-5-7)

図 -5-7 健診結果の指摘の有無と指摘の内容[複数回答] - 飲酒習慣の有無別



(注) 飲酒の習慣は、飲酒の頻度が週3日以上、1日の平均飲酒量が1合以上の者を「習慣あり」とした。

3 保健指導の有無と指導内容の実行程度

健診・人間ドッグの受診結果で「指摘あり」と回答した2,298人に医師・保健師などから保健指導（食事や生活習慣の改善の指導）があったかどうか尋ねたところ、「指導あり」と回答したものは68.8%（1,582人）であった。

また、「指導あり」と回答した1,582人にその指導された内容の実行程度を尋ねたところ、「おおむね実行している」が60.2%、「一部実行している」が31.9%と9割以上が実行（おおむね、一部）していることが分かった。（図 -5-8）

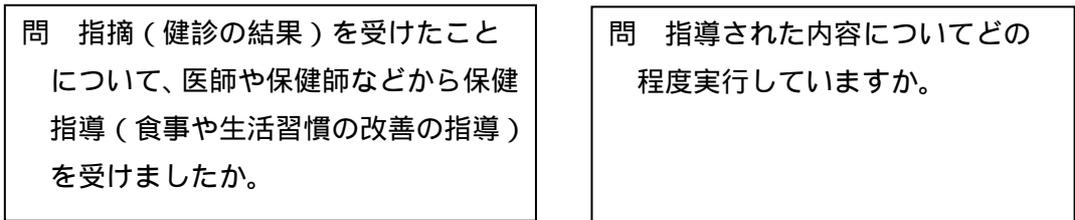
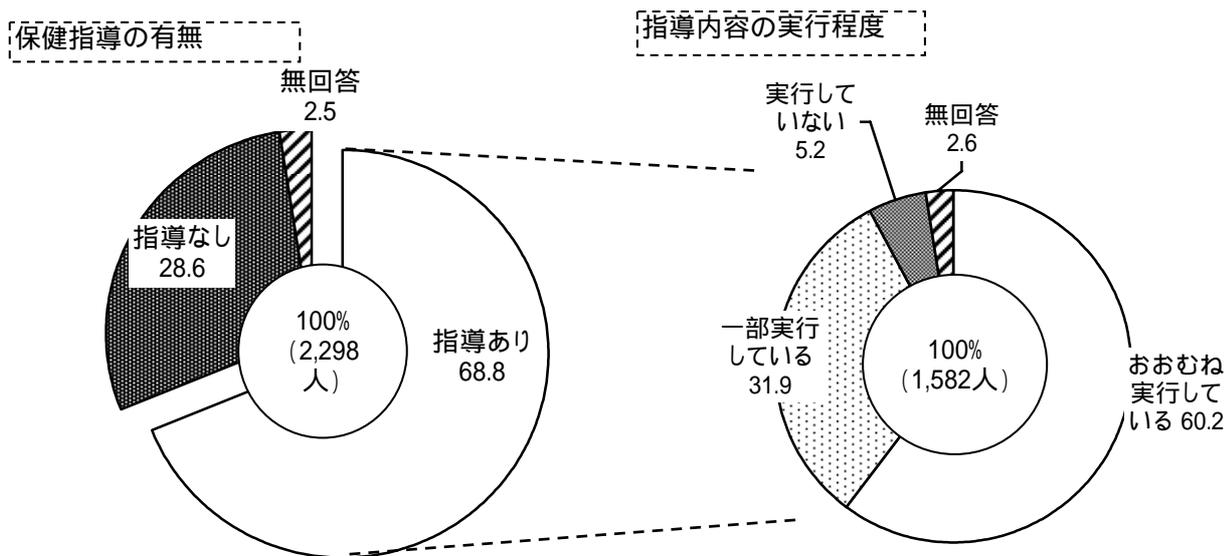


図 -5-8 保健指導の有無と指導内容の実行程度



（注）「指導あり」とは医師や保健師などから保健指導（食事や生活活動の改善の指導）を受けた割合、「指導なし」は医師や保健師などから保健指導（食事や生活活動の改善の指導）を受けなかった割合である。（健診結果の指摘等があった、なかった割合ではない。）

(1) 保健指導の有無と指導内容の実行程度 - 地域別

「保健指導あり」の割合は、区部では区西部（新宿、中野、杉並区）、市町村部では北多摩西部（立川、昭島、国分寺、国立、東大和、武蔵村山市）が高い。

保健指導の有無と指導内容の実行程度を地域別にみると、「指導あり」の割合は、区部では区西部（新宿、中野、杉並区）が73.9%と高く、市町村部では北多摩西部（立川、昭島、国分寺、国立、東大和、武蔵村山市）が77.2%と高い。（表 -5-3）

表 -5-3 保健指導の有無と指導内容の実行程度 - 地域別

	総 数	指 導 あ り	行	て	な	無 回 答	指 導 な し	無 回 答
			お し お て む い ね る 実	一 い 部 る 実 行 し	い 実 行 し て い			
総数	100.0 (2,298)	68.8	41.5	22.0	3.6	1.8	28.6	2.5
区部 計	100.0 (1,442)	68.0	40.8	21.9	3.4	1.9	28.7	3.3
区中央部	100.0 (113)	67.3	40.7	22.1	2.7	1.8	23.0	9.7
区南部	100.0 (174)	64.4	37.9	23.6	1.7	1.1	35.1	0.6
区西南部	100.0 (165)	71.5	43.6	22.4	1.2	4.2	26.1	2.4
区西部	100.0 (119)	<u>73.9</u>	50.4	16.0	3.4	4.2	22.7	3.4
区西北部	100.0 (430)	69.1	41.2	21.6	4.4	1.9	27.9	3.0
区東北部	100.0 (174)	61.5	32.8	24.7	4.0	-	36.2	2.3
区東部	100.0 (267)	68.5	41.2	21.7	4.1	1.5	27.7	3.7
市・町・村部 計	100.0 (856)	70.2	42.6	22.1	4.0	1.5	28.5	1.3
西多摩	100.0 (84)	63.1	41.7	13.1	6.0	2.4	34.5	2.4
南多摩	100.0 (251)	70.1	42.6	23.9	3.6	-	27.9	2.0
北多摩西部	100.0 (127)	<u>77.2</u>	50.4	24.4	1.6	0.8	22.8	-
北多摩南部	100.0 (202)	65.8	34.7	22.8	5.0	3.5	32.7	1.5
北多摩北部	100.0 (192)	73.4	46.4	21.4	4.2	1.6	26.0	0.5

(2) 保健指導の有無と指導内容の実行程度 - 性・年齢階級別

「保健指導あり」の割合は、65歳以上で8割弱

保健指導の有無と指導内容の実行程度を性・年齢階級別にみると、「指導あり」の割合は65歳以上が高く77.8%、「指導なし」の割合は20代が男女ともに7割以上となっている。指導内容の実行程度は、男女ともに20代の「実行していない」の割合が総数よりも高く、他の年齢階級よりも実行程度が低い。(表 -5-4)

表 -5-4 保健指導の有無と指導内容の実行程度 - 性・年齢階級別

	総 数	指 導 あ り	指導あり				無 回 答	指 導 な し	無 回 答
			い ま し て お し て ね	し ら べ 部 門 に お い て お し て ね	し ら べ 部 門 に お い て お し て ね	い ま し て お し て ね			
総数	100.0 (2,298)	<u>68.8</u>	41.5	22.0	3.6	1.8	28.6	2.5	
男	100.0 (1,277)	69.2	39.4	22.9	5.4	1.5	28.4	2.3	
20～29歳	100.0 (22)	22.7	9.1	4.5	<u>9.1</u>	-	<u>72.7</u>	4.5	
30～39歳	100.0 (169)	51.5	18.3	23.1	7.7	2.4	46.7	1.8	
40～49歳	100.0 (229)	55.9	26.6	22.3	7.0	-	41.5	2.6	
50～59歳	100.0 (277)	71.8	36.5	27.8	6.9	0.7	26.0	2.2	
60～69歳	100.0 (262)	80.9	48.1	27.5	4.6	0.8	17.9	1.1	
70～79歳	100.0 (246)	80.5	57.7	17.5	1.6	3.7	17.1	2.4	
80歳以上	100.0 (72)	76.4	55.6	13.9	4.2	2.8	16.7	6.9	
女	100.0 (1,021)	68.4	44.1	20.8	1.4	2.2	28.9	2.7	
20～29歳	100.0 (28)	25.0	10.7	10.7	3.6	-	<u>75.0</u>	-	
30～39歳	100.0 (57)	38.6	10.5	22.8	<u>5.3</u>	-	57.9	3.5	
40～49歳	100.0 (101)	54.5	24.8	27.7	1.0	1.0	43.6	2.0	
50～59歳	100.0 (178)	68.5	36.0	29.2	1.1	2.2	29.8	1.7	
60～69歳	100.0 (293)	73.0	50.2	18.8	1.0	3.1	24.6	2.4	
70～79歳	100.0 (267)	78.3	56.2	18.4	1.1	2.6	18.4	3.4	
80歳以上	100.0 (97)	71.1	56.7	12.4	1.0	1.0	23.7	5.2	
(再掲)総数65歳以上	100.0 (981)	<u>77.8</u>	55.6	17.8	1.8	2.5	19.4	2.9	
男 65歳以上	100.0 (472)	79.9	54.9	19.5	2.8	2.8	17.6	2.5	
女 65歳以上	100.0 (509)	75.8	56.2	16.3	1.0	2.4	21.0	3.1	

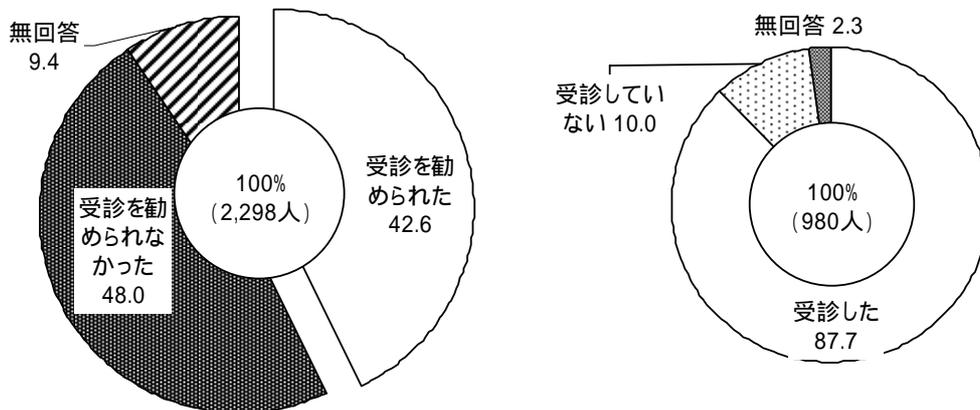
4 医療機関受診勧奨の有無と受診の有無

健診・人間ドッグの受診結果で「指摘あり」と回答した2,298人に医師・保健師などから医療機関を受診するよう勧められたかどうか尋ねたところ、「受診を勧められた」と回答したものは42.6%（980人）であった。

また、「受診を勧められた」と回答した980人に、その後医療機関を受診したかどうか尋ねたところ、9割弱にあたる87.7%が「受診した」と回答をした。（図 -5-9）

<p>問 最終的に、医療機関を受診するように勧められましたか。</p>	<p>問 その後、医療機関に行きましたか。</p>
-------------------------------------	---------------------------

図 -5-9 医療機関受診勧奨の有無と受診の有無

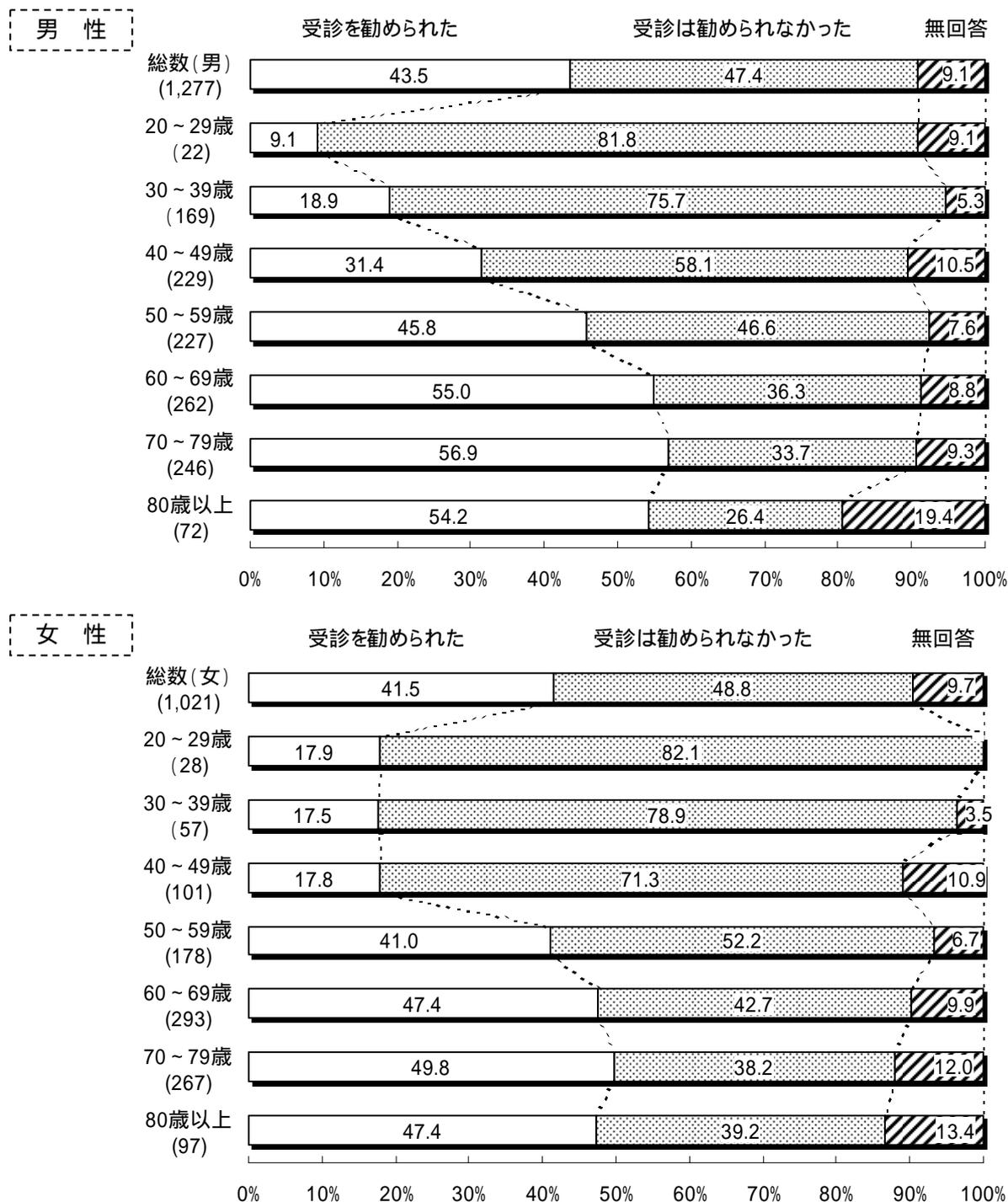


(1) 医療機関受診勧奨の有無 - 性・年齢階級別

医療機関の「受診を勧められた」割合は、女性よりも男性の方が高い。

医療機関の受診を勧められたかどうか性・年齢階級別にみると「受診を勧められた」割合は、女性（41.5%）よりも男性（43.5%）の方が高く、特に男性の60歳以上の階級では5割を超えている。（図 -5-10）

図 -5-10 医療機関受診勧奨の有無 - 性・年齢階級別



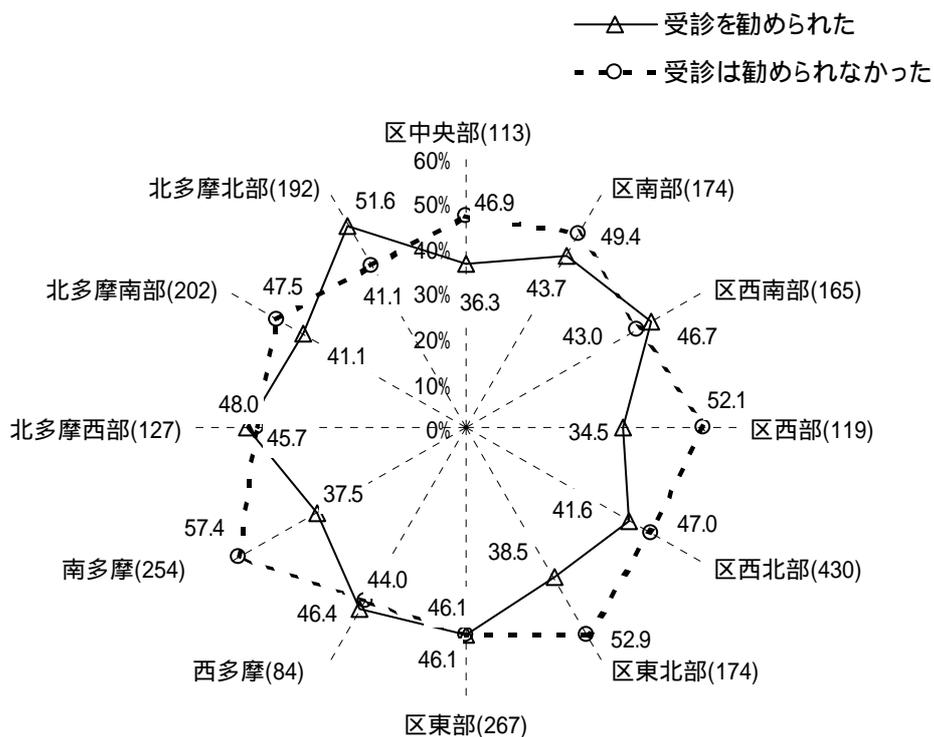
(2) 医療機関受診勧奨の有無 - 地域別

医療機関の「受診を勧められた」割合は、北多摩北部（小平、東村山、清瀬、東久留米、西東京市）が最も高く5割以上

医療機関受診勧奨の有無を地域別にみると、「受診を勧められた」割合は、北多摩北部（小平、東村山、清瀬、東久留米、西東京市）が最も高く、51.6%と5割を超えている。

一方、「受診を勧められなかった」割合は、南多摩（八王子、町田、日野、多摩、稲城市）が最も高く、57.4%となっている。（図 -5-11）

図 -5-11 医療機関受診勧奨の有無 - 地域別



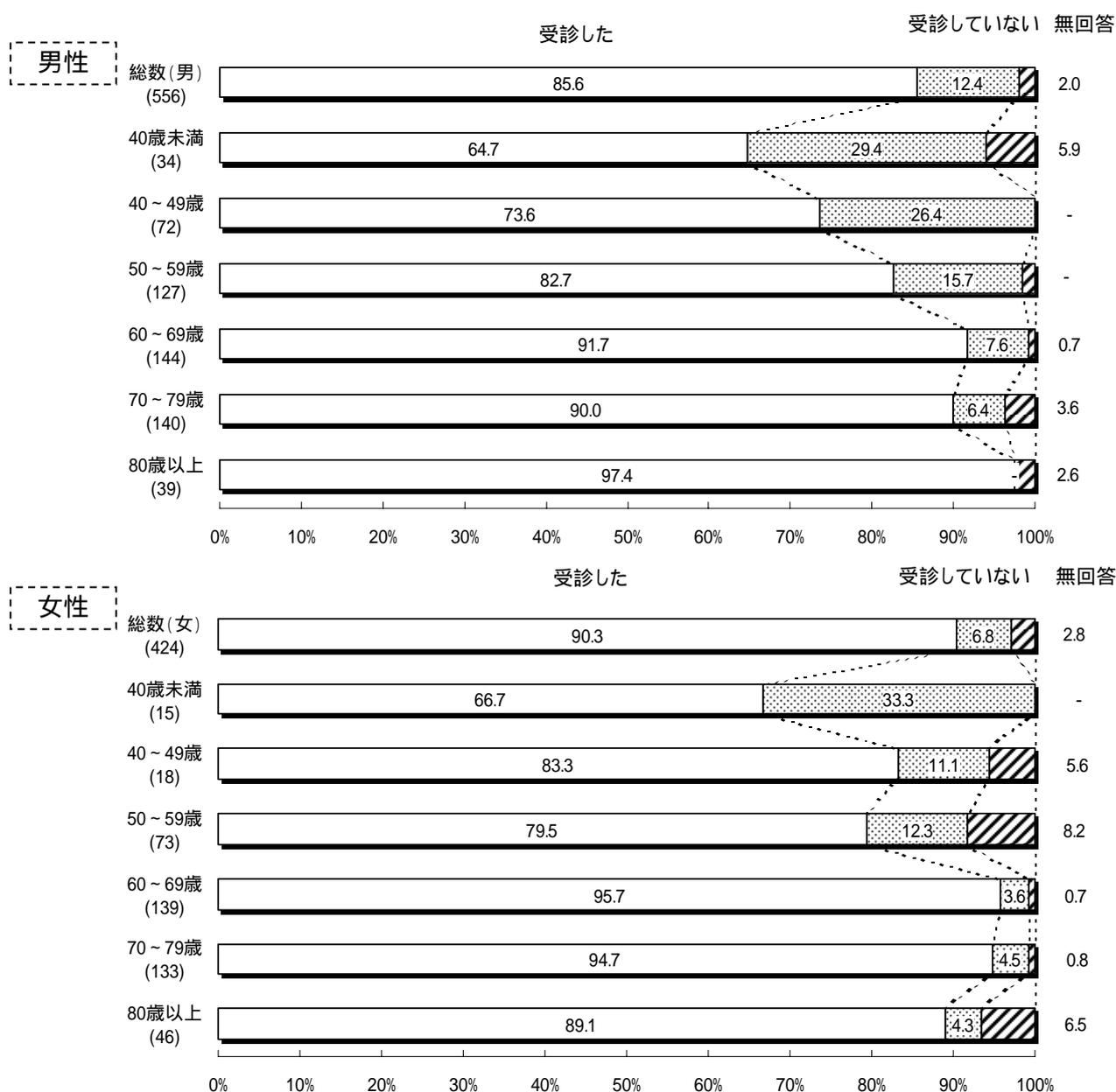
(注) 無回答は除いている。

(3) 医療機関の受診を勧められた後の医療機関の受診の有無 - 性・年齢階級別

医療機関の受診を勧められて実際に受診をしている割合は、男性よりも女性の方が高く、特に女性は9割を超えている。

医師・保健師などから医療機関で受診するよう勧められた人（健診・人間ドッグの受診結果で「指摘あり」の人が対象）に、その後医療機関を受診したかどうかを、性別にみると、「受診した」割合は、男性（85.6%）よりも女性（90.3%）の方が高い。性・年齢階級別にみると「受診した」割合は男女ともに60歳以上の階級が90%前後と高くなっている。（図 -5-12）

図 -5-12 医療機関の受診を勧められた後の医療機関の受診の有無 - 性・年齢階級別



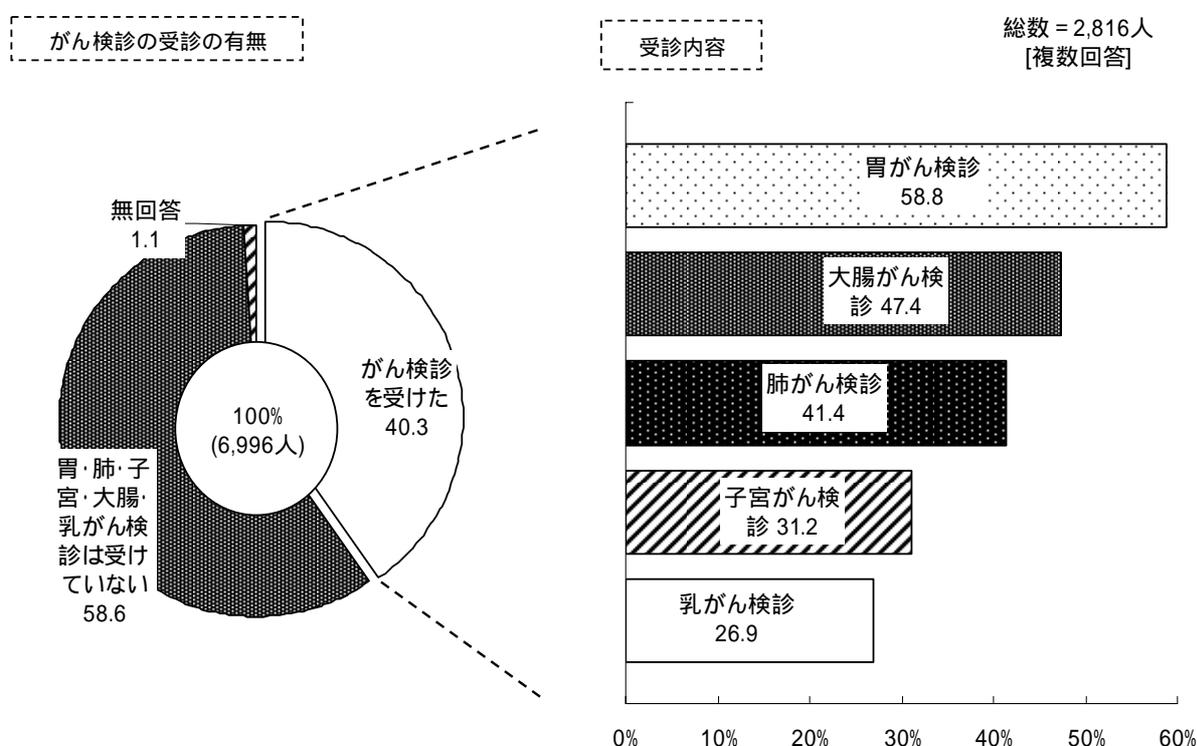
第6章 がん検診の受診状況

1 がん検診の受診状況と受診内容

過去1年間に胃・肺・子宮・大腸・乳がん検診のいずれかを受診したものは40.3% (2,816人)であった。また、がん検診を受診した2,816人の受診内容は「胃がん検診」の割合が最も高く58.8%、次いで「大腸がん検診」が47.4%、「肺がん検診」が41.4%と続いている。(図 -6-1)

問 あなたは過去1年間に、がん検診(胃がん、肺がん、子宮がん、大腸がん、乳がん)を受けましたか。

図 -6-1 がん検診の受診状況と受診内容



(注1) これらのがん検診については、健診等(健康診断、健康診査及び人間ドック)の中で受診したものも含む。

(注2) 胃がん検診・・・バリウムによるレントゲン撮影や内視鏡による撮影など

肺がん検診・・・胸の単純エックス線撮影(結核検診と同一)や喀痰検査かくたん

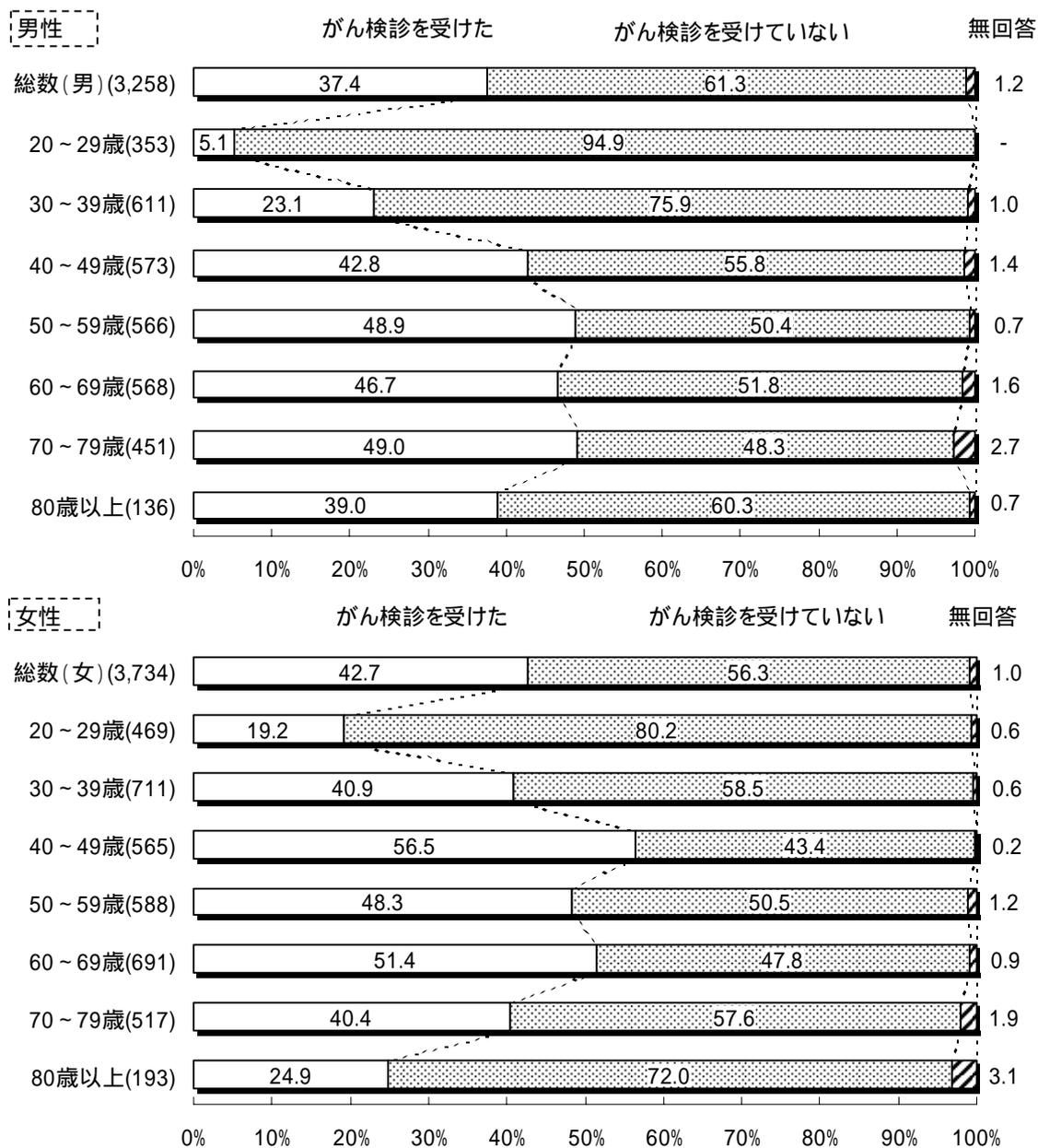
大腸検診・・・便潜血反応検査(検便など)

(1) がん検診の受診状況 - 性・年齢階級別

がん検診を受けた割合は40代女性が最も高く5割以上

がん検診の受診状況について、性・年齢階級別にみると「がん検診を受けた」割合は男性(37.4%)よりも女性(42.7%)の方が高い。特に、女性の40代では56.5%と高くなっている。(図 -6-2)

図 -6-2 がん検診の受診状況 - 性・年齢階級別



(2) がん検診の受診内容[複数回答] - 性・年齢階級別

「乳がん検診」を受診した40歳以上の女性は22.8%

がん検診の受診率を性・年齢階級別にみると、「胃がん検診」「肺がん検診」については、50代男性が高く（胃がん41.5%、肺がん27.0%）、「子宮がん検診」「乳がん検診」については、40代女性が高くなっている（子宮がん検診40.0%、乳がん検診37.0%）。がん検診の受診率を「がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針」（対象は胃がん40歳以上、肺がん40歳以上、大腸がん40歳以上、子宮がん20歳以上女性、乳がん40歳以上女性）に沿って、みてみると胃がん検診29.9%、肺がん検診20.3%、大腸がん24.9%、子宮がん検診23.5%、乳がん検診22.8%であった。（表 -6-1）

表 -6-1 がん検診の受診率[複数回答] - 性・年齢階級別

	総 数	け が た ん 検 診 を 受	胃 が ん 検 診	肺 が ん 検 診	診 子 宮 が ん 検	診 大 腸 が ん 検	乳 が ん 検 診	け が 宮 胃 大 腸 肺 子 が ん 検 診 は 受 乳	無 回 答
総数	100.0 (6,996)	40.3	23.7	16.7	12.6	19.1	10.8	58.6	1.1
男	100.0 (3,258)	37.4	27.8	20.2	-	21.1	...	61.3	1.2
20～29歳	100.0 (353)	5.1	2.5	4.2	-	1.4	...	94.9	-
30～39歳	100.0 (611)	23.1	16.9	15.2	-	9.7	-	75.9	1.0
40～49歳	100.0 (573)	42.8	36.3	25.7	-	24.8	...	55.8	1.4
50～59歳	100.0 (566)	48.9	41.5	27.0	-	26.1	-	50.4	0.7
60～69歳	100.0 (568)	46.7	32.9	24.1	-	28.2	...	51.8	1.6
70～79歳	100.0 (451)	49.0	30.8	19.1	-	31.5	...	48.3	2.7
80歳以上	100.0 (136)	39.0	18.4	19.1	-	23.5	-	60.3	0.7
(再掲)40歳以上	100.0 (2,294)	46.3	34.6	23.9	-	27.2	...	52.3	1.6
女	100.0 (3,734)	42.7	20.1	13.6	23.5	17.3	20.1	56.3	1.0
20～29歳	100.0 (469)	19.2	1.9	2.6	14.3	1.5	3.6	80.2	0.6
30～39歳	100.0 (711)	40.9	11.8	8.7	32.8	7.7	21.1	58.5	0.6
40～49歳	100.0 (565)	56.5	26.4	19.5	40.0	22.1	37.0	43.4	0.2
50～59歳	100.0 (588)	48.3	28.4	18.7	27.9	21.4	25.9	50.5	1.2
60～69歳	100.0 (691)	51.4	29.2	19.8	20.1	27.1	21.9	47.8	0.9
70～79歳	100.0 (517)	40.4	21.5	12.8	7.7	23.6	12.0	57.6	1.9
80歳以上	100.0 (193)	24.9	14.0	6.2	4.7	12.4	4.7	72.0	3.1
(再掲)40歳以上	100.0 (2,554)	47.6	25.7	17.0	22.6	22.9	22.8	51.3	1.2
(再掲)総数(男女40歳以上)	100.0 (4,852)	46.9	29.9	20.3	-	24.9	-	51.8	1.3

(注) 男性の乳がん検診受診者7名はサンプル数が少ないため(...)と省略した。

(3) がん検診の受診率[複数回答]

- 1日の食事の栄養バランス、1日の平均飲酒量、喫煙頻度別

がん検診の受診率を1日の食事の栄養バランス別にみると、3食ともそろえている人が45.7%で最も高く、1日の平均飲酒量別にみると、1合未満が44.5%で最も高い。また、喫煙頻度別にみると、今は(この1ヶ月間)吸っていない人が最も高く45.1%となっている。(表-6-2)

表 -6-2 がん検診の受診率[複数回答] - 1日の食事の栄養バランス、1日の平均飲酒量、喫煙頻度別

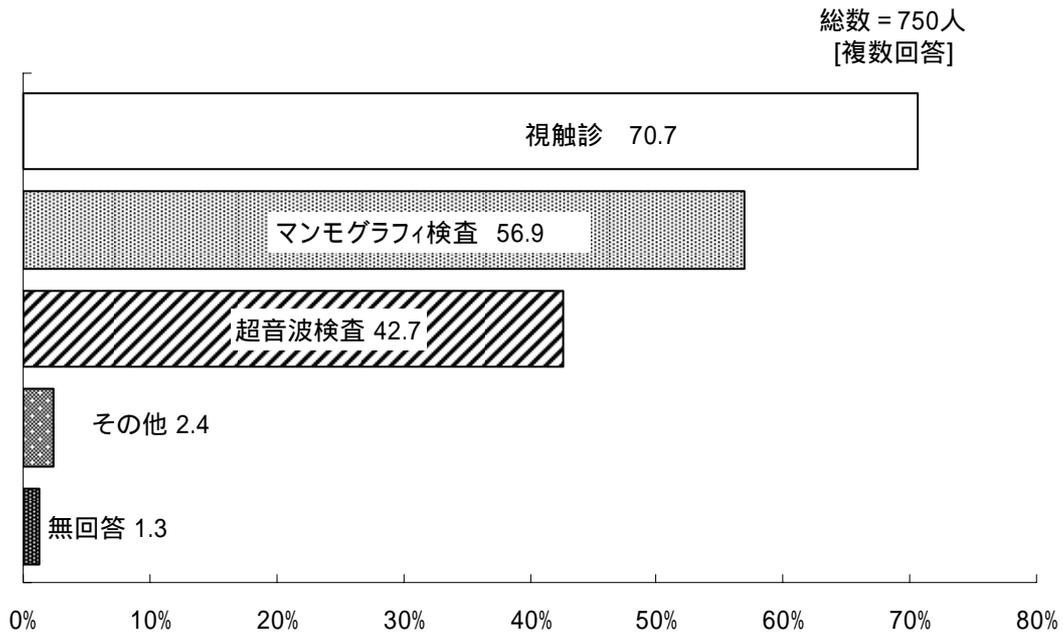
	総 数	がん 検診 を受 けた					乳 がん 検診	大 腸 がん 検診	子 宮 がん 検診	肺 がん 検診	胃 ・ 腸 ・ 膵 ・ 胆 ・ 膵 ・ 乳 がん 検 診 ・ 大	無 回 答
		胃 がん 検 診	肺 がん 検 診	子 宮 がん 検 診	大 腸 がん 検 診	乳 がん 検 診						
総数	100.0 (6,996)	40.3	23.7	16.7	12.6	19.1	10.8	58.6	1.1			
1 日 の 食 事 の 栄 養 バ ラ ン ス 別	一日1食はそろえている	100.0 (1,653)	37.3	20.5	14.8	13.2	15.1	9.1	61.4	1.3		
	一日2食はそろえている	100.0 (2,675)	44.1	26.8	19.5	14.3	21.2	13.0	54.9	1.0		
	3食ともそろえている	100.0 (1,751)	<u>45.7</u>	26.6	17.4	12.9	23.8	12.1	53.1	1.1		
	特に気にしていない	100.0 (851)	22.3	13.5	9.8	4.8	10.6	4.2	76.9	0.8		
1 日 の 平 均 飲 酒 量 別	1合未満	100.0 (1,501)	<u>44.5</u>	25.8	18.9	15.6	20.9	14.6	54.6	0.9		
	1～2合未満	100.0 (1,318)	42.9	27.6	20.0	9.9	21.6	8.3	56.1	1.1		
	2～3合未満	100.0 (615)	40.2	27.0	19.5	6.2	21.1	5.5	58.7	1.1		
	3～4合未満	100.0 (226)	35.8	23.0	18.6	6.6	17.3	5.3	64.2	-		
	4～5合未満	100.0 (60)	30.0	15.0	23.3	3.3	16.7	3.3	70.0	-		
	5合以上	100.0 (72)	27.8	19.4	16.7	4.2	12.5	2.8	72.2	-		
喫 煙 頻 度 別	総数	100.0 (3,428)	38.7	24.8	19.1	7.6	18.3	6.3	60.4	0.9		
	毎日吸う	100.0 (1,594)	33.6	21.9	17.8	5.8	14.9	5.0	65.4	0.9		
	ときどき吸っている	100.0 (173)	33.5	22.0	14.5	13.9	13.3	11.0	66.5	-		
	今は(この1ヶ月間)吸っていない	100.0 (1,413)	<u>45.4</u>	28.4	21.9	8.4	23.2	7.3	53.8	0.8		

2 乳がん検診の受診状況(女性)

乳がん検診を受けた 750 人(女性)に検診の方法を尋ねたところ、「視触診」の割合が最も高く 70.3%、次いで「マンモグラフィ(乳房X線)検査」が 56.5%、「超音波検査(エコー)」が 42.7%であった。(図 -6-3)

問 (乳がん)検診の方法は何でしたか。

図 -6-3 乳がん検診の受診状況(女性)



(注) 男性の乳がん検診受診者 7 名はサンプル数が少ないため省略した。

(1) 乳がん検診の受診状況[複数回答] - 性(女性)・年齢階級別(女性)

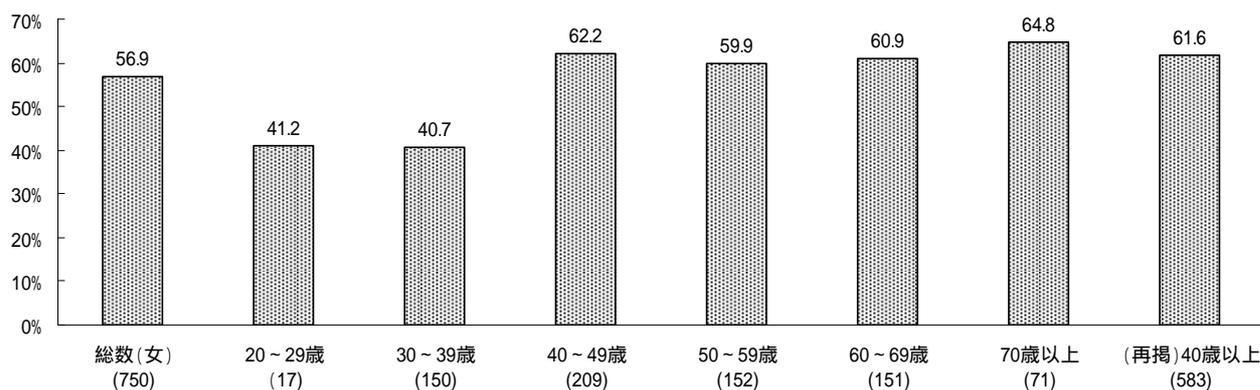
乳がん検診を受診した者の内「マンモグラフィ(乳房X線)検査」を受診した割合は、40歳以上の女性で6割前後

乳がん検診の方法を女性の年齢階級別にみると「視触診」を受診した割合は、30歳未満(88.2)、30代(78.7%)が高く、「マンモグラフィ(乳房X線)検査」の割合は40歳以上では60%前後と総数(56.5%)よりも高くなっている。(表 -6-3、図 -6-4)

表 -6-3 乳がん検診の受診状況[複数回答] - 性(女性)・年齢階級別

	総 数	視 触 診	X 線 マ ン モ グ ラ フィ 検 査	フ ィ ン グ ラ フ ィ 検 査	超 音 波 検 査 (エ コ ー)	そ の 他	無 回 答
総数(女)	100.0 (750)	70.7	56.9	42.7	2.4	1.3	
20～29歳	100.0 (17)	88.2	41.2	52.9	-	-	
30～39歳	100.0 (150)	78.7	40.7	51.3	1.3	1.3	
40～49歳	100.0 (209)	68.4	62.2	44.0	1.4	1.0	
50～59歳	100.0 (152)	72.4	59.9	39.5	2.0	2.0	
60～69歳	100.0 (151)	71.5	60.9	36.4	4.0	0.7	
70～79歳	100.0 (62)	48.4	62.9	38.7	6.5	3.2	
80歳以上	100.0 (9)	66.7	77.8	33.3	-	-	

図 -6-4 マンモグラフィ検査の受診状況 - 女性・年齢階級別



(注)・総数750人は女性の人数である。

・マンモグラフィ検査は、視触診検査等の併用も含む。

(2) 乳がん検診の受診状況[複数回答] - 就業状況別

乳がん検診の受診状況を就業状況別にみると、「視触診」の割合は就業者が72.1%、非労働力人口が67.4%と就業者の方が高い。また、「マンモグラフィ(乳房X線)」の割合は、就業者が54.9%、非労働力人口が59.5%と非労働力人口の方が高くなっている。(表 -6-4)

表 -6-4 乳がん検診の受診状況[複数回答] - 就業状況別

	総 数	視 触 診	マン モ グ ラ フ ィ (乳 房 X 線) 検 査	超 音 波 検 査 (エ コ ー)	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (757)	70.3	56.5	42.7	2.5	1.6
就業者	100.0 (459)	<u>72.1</u>	<u>54.9</u>	42.7	1.7	1.3
主に仕事	100.0 (268)	72.8	51.9	43.7	1.5	0.7
家事などのほかに仕事	100.0 (183)	71.0	60.7	42.6	1.1	2.2
その他	100.0 (8)	75.0	25.0	12.5	25.0	-
仕事を探していた	100.0 (3)	100.0	33.3	-	-	-
非労働力人口	100.0 (291)	<u>67.4</u>	<u>59.5</u>	43.0	3.4	2.1
家事(専業)	100.0 (238)	68.9	57.6	43.7	3.4	1.7
その他(幼児、高齢・病気等)	100.0 (53)	60.4	67.9	39.6	3.8	3.8

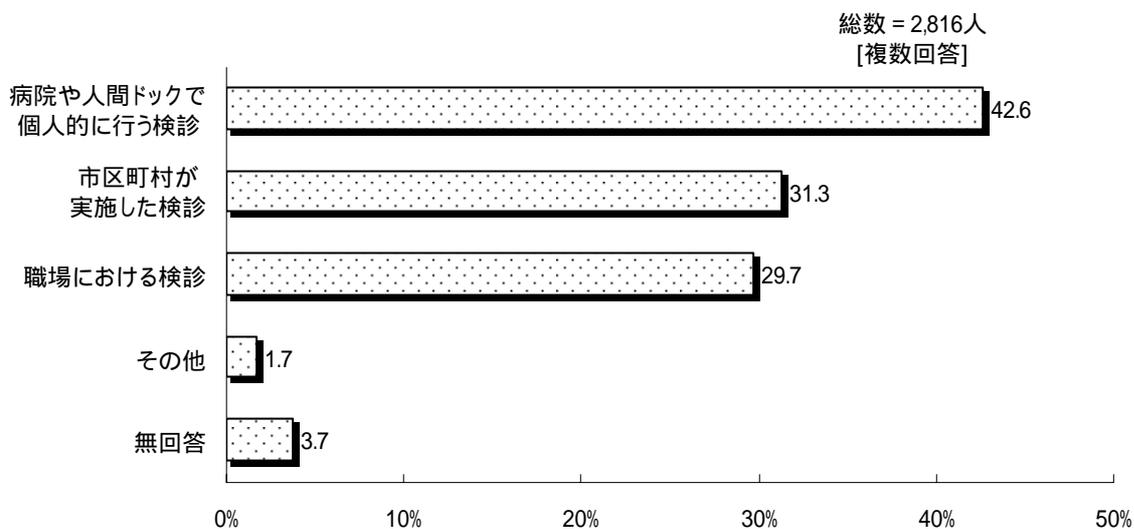
(注) 男性の乳がん検診者7名を含む。

3 がん検診の受診場所

胃・肺・子宮・大腸・乳がん検診のいずれかを受診した2,818人についてがん検診の受診場所について尋ねたところ、がん検診の受診場所は「病院や人間ドックで個人的に行う検診」が最も高く42.6%、次いで「市区町村が実施した検診」31.3%、「職場における検診」29.7%となっている。(図 -6-5)

問 がん検診をどこで受けましたか。

図 -6-5 がん検診の受診場所



(1) がん検診の受診場所[複数回答] - 性・年齢階級別

がん検診の受診場所は男性が「職場における検診」、女性は「病院や人間ドックで個人的に行う検診」の割合が高い。

がん検診の受診場所を性別で見ると男性は「職場における検診」の割合が42.1%で最も高く、女性は「病院や人間ドックで個人的に行う検診」の割合が46.3%で最も高い。

「市区町村が実施した検診」の割合は、65歳以上の高齢者の割合が高くなっている。(表-6-5)

表 -6-5 がん検診の受診場所[複数回答] - 性・年齢階級別

	総 数	職 場 に お け る 検 診	市 区 検 診 村 が 実 施	病 院 や 人 間 ド ッ ク で 個 人 的 に ド ッ ク	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (2,816)	29.7	31.3	42.6	1.7	3.7
男	100.0 (1,220)	42.1	24.3	37.7	0.8	2.8
20～29歳	100.0 (18)	72.2	5.6	27.8	5.6	-
30～39歳	100.0 (141)	76.6	2.8	18.4	1.4	2.1
40～49歳	100.0 (245)	69.4	9.4	25.3	-	2.9
50～59歳	100.0 (277)	53.4	12.6	37.2	-	2.2
60～69歳	100.0 (265)	24.2	38.1	45.3	1.1	2.3
70～79歳	100.0 (221)	4.5	48.0	53.4	1.8	4.1
80歳以上	100.0 (53)	1.9	49.1	49.1	-	5.7
女	100.0 (1,596)	20.2	36.7	46.3	2.4	4.4
20～29歳	100.0 (90)	18.9	11.1	60.0	5.6	5.6
30～39歳	100.0 (291)	33.3	20.3	48.8	2.7	3.4
40～49歳	100.0 (319)	31.7	30.4	40.1	3.8	3.4
50～59歳	100.0 (284)	23.9	33.1	49.6	1.8	4.2
60～69歳	100.0 (355)	9.9	52.4	43.4	1.4	6.5
70～79歳	100.0 (209)	1.9	58.9	43.5	1.0	3.8
80歳以上	100.0 (48)	-	33.3	60.4	4.2	4.2
(再掲)総数65歳以上	100.0 (863)	5.4	52.3	47.3	1.5	4.2
男 65歳以上	100.0 (427)	8.0	48.5	48.7	1.6	3.5
女 65歳以上	100.0 (436)	3.0	56.0	45.9	1.4	4.8

(2) がん検診の受診場所[複数回答] - 地域別

市区町村が実施したがん検診で受診した割合が高い地域は、区中央部(千代田、中央、港、文京、台東区)と西多摩(青梅・福生・羽村・あきる野市、瑞穂・日の出・奥多摩町、檜原村)地域

がん検診の受診場所を地域別にみると、「病院や人間ドックで個人的に行う検診」の割合は、市・町・村部(39.0%)よりも区部(44.7%)が高く、区西南部(目黒、世田谷、渋谷区)が55.8%と最も高くなっている。

「市区町村が実施した検診」の割合は、区中央部(千代田、中央、港、文京、台東区)の46.9%、西多摩(青梅・福生・羽村・あきる野市、瑞穂・日の出・奥多摩町、檜原村)の39.5%が高い。

「職場における検診」の割合は区部(27.4%)よりも市・町・村部の割合(33.5%)が高くなっている。(表 -6-6)

表 -6-6 がん検診の受診場所[複数回答] - 地域別

	総 数	職 場 に お け る 検 診	市 区 検 診 村 が 実 施	病 院 や 人 間 ド ッ ク で 個 人 的 に ド ッ ク	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (2,816)	29.7	31.3	42.6	1.7	3.7
区部 計	100.0 (1,758)	27.4	32.4	44.7	1.3	3.7
区中央部	100.0 (147)	23.1	46.9	32.7	0.7	4.1
区南部	100.0 (218)	32.1	22.5	48.2	3.2	3.7
区西南部	100.0 (199)	19.1	27.1	55.8	0.5	4.0
区西部	100.0 (158)	17.1	40.5	48.7	-	3.8
区西北部	100.0 (508)	28.9	35.4	42.7	0.8	2.6
区東北部	100.0 (238)	35.3	23.5	44.5	1.3	5.9
区東部	100.0 (290)	28.3	33.4	42.1	2.1	3.4
市・町・村部 計	100.0 (1,058)	33.5	29.5	39.0	2.6	3.8
西多摩	100.0 (86)	37.2	39.5	26.7	-	-
南多摩	100.0 (340)	37.6	26.5	35.9	2.6	4.1
北多摩西部	100.0 (161)	37.3	24.8	42.2	2.5	1.9
北多摩南部	100.0 (242)	32.6	34.3	36.8	3.3	3.3
北多摩北部	100.0 (229)	24.0	28.4	48.5	2.6	6.6

4 がん検診を受けた理由と受けなかった理由

がん検診を受けた理由は「年齢的に必要性を感じたから」が最も高く 43.9%、次いで「がんを早期に見つけるため」が 33.5%、「職場の検診内容にあったから」が 28.8%と続いている。(図 -6-6)

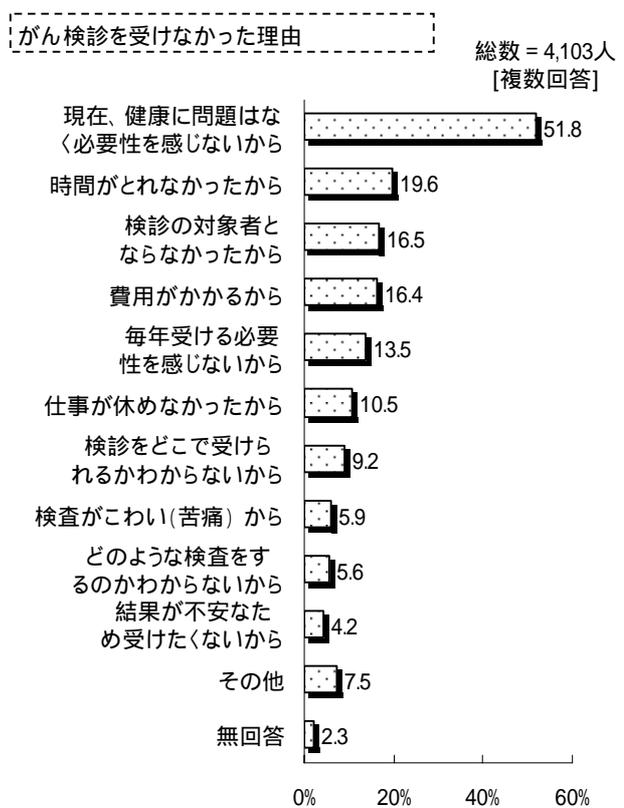
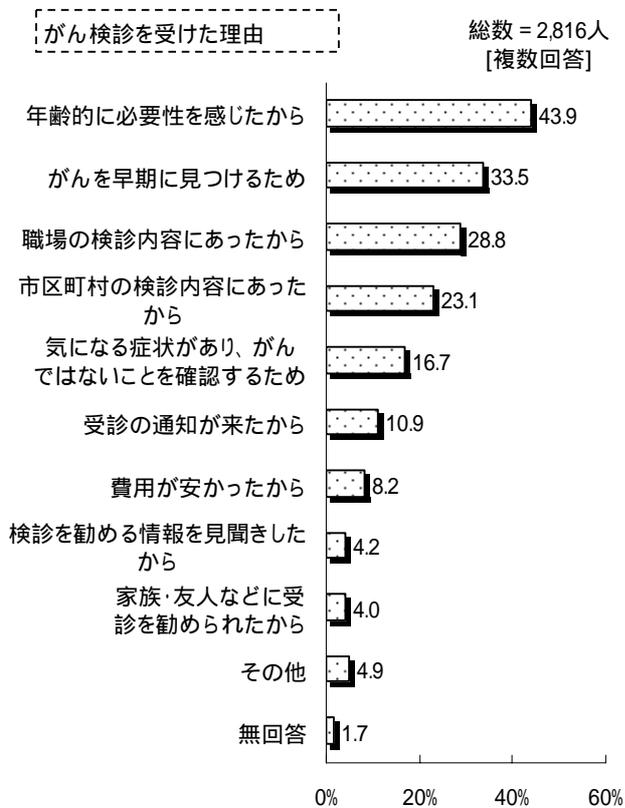
一方、がん検診を受けなかった理由は「現在、健康に問題はなく、必要性を感じないから」が 51.8%で最も多く、次いで「時間がとれなかったから」が 19.6%と続く。(図 -6-7)

問 がん検診を受けた理由は何ですか。

問 がん検診を受けなかった理由は何ですか。

図 -6-6 がん検診を受けた理由

図 -6-7 がん検診を受けなかった理由



(1) がん検診を受けた理由[複数回答] - 性・年齢階級別

男性よりも女性のほうが「年齢的に必要性を感じた」から、がん検診を受けた割合が高い。

がん検診を受けた理由を性別にみると「年齢的に必要性を感じたから」の割合は男性(38.7%)よりも女性(47.9%)が高く、また、「がんを早期に見つけるため」の割合も、男性(28.3%)よりも女性(37.5%)の方が高い。

一方、「職場の検診内容にあったから」の割合は、女性(18.5%)よりも男性(42.2%)の方が高くなっている。(表 -6-7)

表 -6-7 がん検診を受けた理由[複数回答] - 性・年齢階級別

	総 数	年 齢 的 に 必 要 性 を 感 じ た か ら	が ん を 早 期 に 見 つ け る た め	と り を 確 認 す る た め	気 に な る 症 状 が あ る こ ろ	あ つ た か ら	市 区 町 村 の 検 診 内 容 に あ つ た か ら	受 診 の 通 知 が 来 た か ら	家 族 ・ 友 人 な ど に 受 診 を 勧 め ら れ た か ら	見 聞 き し た か ら	検 診 を 勧 め る 情 報 を 見 た か ら	費 用 が 安 か つ た か ら	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (2,816)	43.9	33.5	16.7	28.8	23.1	10.9	4.0	4.2	8.2	4.9	1.7		
男	100.0 (1,220)	38.7	28.3	13.2	42.2	18.9	9.6	3.0	3.0	5.8	3.5	1.4		
20～29歳	100.0 (18)	5.6	-	-	72.2	-	-	16.7	5.6	-	5.6	-		
30～39歳	100.0 (141)	25.5	14.2	2.1	74.5	3.5	6.4	3.5	2.8	5.7	1.4	0.7		
40～49歳	100.0 (245)	31.4	23.7	3.3	70.6	6.9	8.6	3.7	1.2	4.1	1.2	0.4		
50～59歳	100.0 (277)	45.1	31.4	11.9	52.7	9.7	6.1	2.5	2.9	5.8	2.5	0.7		
60～69歳	100.0 (265)	42.6	36.2	18.5	25.3	29.1	11.3	2.6	4.5	5.7	6.8	1.1		
70～79歳	100.0 (221)	45.7	30.3	24.9	4.1	39.4	14.0	1.8	3.2	8.6	4.1	3.6		
80歳以上	100.0 (53)	35.8	32.1	24.5	3.8	32.1	17.0	1.9	1.9	5.7	5.7	3.8		
女	100.0 (1,596)	47.9	37.5	19.4	18.5	26.4	11.9	4.8	5.1	10.1	6.0	2.0		
20～29歳	100.0 (90)	21.1	26.7	28.9	18.9	8.9	7.8	5.6	7.8	5.6	15.6	2.2		
30～39歳	100.0 (291)	45.4	30.2	18.9	29.2	11.7	7.6	5.5	7.9	7.9	11.7	1.7		
40～49歳	100.0 (319)	63.6	40.8	18.5	28.2	22.3	11.6	6.0	5.6	13.8	2.8	1.6		
50～59歳	100.0 (284)	58.8	44.0	14.1	25.0	23.9	7.7	4.6	4.6	11.3	3.5	1.1		
60～69歳	100.0 (355)	42.0	41.4	22.0	8.5	39.4	16.6	2.8	3.9	11.8	3.9	3.1		
70～79歳	100.0 (209)	37.3	34.0	20.6	1.0	39.7	17.7	5.3	1.9	6.7	4.8	2.4		
80歳以上	100.0 (48)	33.3	27.1	16.7	-	35.4	12.5	6.3	6.3	2.1	8.3	2.1		

(2) がん検診を受けなかった理由[複数回答] - 性・年齢階級別

がん検診を受けなかった理由が「現在、健康に問題はなく、必要性を感じないから」の割合は女性よりも男性の方が高い。

がん検診を受けなかった理由について、性・年齢階級別で見ると「現在、健康に問題はなく、必要性を感じないから」の割合は女性(49.3%)よりも男性(54.3%)の方が高く、「検査がこわい(苦痛)から」の割合は男性(3.3%)よりも女性(8.5%)の方が高くなっている。

また、「時間がとれなかったから」の割合は、30代女性(32.5%)、40代女性(38.8%)が総数の割合(19.6%)よりも高いのが目立つ。(表 -6-8)

表 -6-8 がん検診を受けなかった理由[複数回答] - 性・年齢階級別

	総 数	ら く 現 在 、 必 要 性 を 感 じ な い か	現 在 、 健 康 に 問 題 は な い か	毎 年 受 け る 必 要 性 を 感 じ な い か	か わ か ら な い か ら	検 診 を ど こ で 受 け ら れ る	か 検 診 の 対 象 者 と な ら な い	ら 検 査 が こ わ い (苦 痛) か	か ど の よ う な 検 査 を す る の か	時 間 が と れ な か つ た か ら	仕 事 が 休 め な か つ た か ら	た 結 果 が 不 安 な た め 、 受 け な い か ら	費 用 が か か る か ら	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (4,103)	51.8	13.5	9.2	16.5	5.9	5.6	19.6	10.5	4.2	16.4	7.5	2.3		
男	100.0 (1,998)	<u>54.3</u>	14.9	8.8	18.7	<u>3.3</u>	4.9	20.0	14.3	2.8	15.8	6.1	2.1		
20～29歳	100.0 (335)	69.6	10.4	14.0	23.0	3.0	5.4	18.8	12.5	1.2	16.7	2.1	0.6		
30～39歳	100.0 (464)	58.0	11.6	12.3	28.7	2.2	5.6	22.6	17.2	1.9	20.5	2.8	1.3		
40～49歳	100.0 (320)	40.6	9.1	10.9	17.2	4.7	5.3	30.9	20.9	2.8	19.1	5.6	1.3		
50～59歳	100.0 (285)	47.4	15.8	5.6	15.1	3.5	5.6	28.1	20.4	4.9	14.4	5.6	1.8		
60～69歳	100.0 (294)	53.7	20.7	3.7	10.5	3.7	3.7	12.9	9.5	3.7	14.6	8.8	3.7		
70～79歳	100.0 (218)	56.9	24.8	3.2	12.4	4.1	2.8	6.4	4.6	3.2	6.9	11.9	2.8		
80歳以上	100.0 (82)	43.9	23.2	2.4	8.5	-	3.7	-	-	1.2	4.9	18.3	8.5		
女	100.0 (2,101)	<u>49.3</u>	12.3	9.6	14.4	<u>8.5</u>	6.2	19.4	6.9	5.6	16.9	8.8	2.6		
20～29歳	100.0 (376)	64.9	7.2	19.9	26.3	3.7	8.5	14.1	5.6	1.3	23.1	5.9	2.1		
30～39歳	100.0 (416)	39.4	8.7	14.7	20.2	11.3	10.3	<u>32.5</u>	9.1	5.3	23.6	11.3	1.2		
40～49歳	100.0 (245)	37.1	8.2	11.4	11.0	11.4	6.5	<u>38.8</u>	15.9	5.3	18.8	8.2	2.4		
50～59歳	100.0 (297)	44.8	14.8	3.0	8.8	12.5	4.0	21.2	9.4	10.8	17.2	6.7	1.3		
60～69歳	100.0 (330)	51.5	15.8	2.7	8.5	7.3	4.2	12.1	3.6	6.7	12.7	8.5	4.5		
70～79歳	100.0 (298)	53.7	16.1	3.7	9.7	8.4	2.3	5.4	2.7	5.7	10.1	7.7	5.0		
80歳以上	100.0 (139)	53.2	22.3	6.5	7.2	2.9	4.3	3.6	-	4.3	1.4	18.0	0.7		

(3) がん検診を受けなかった理由[複数回答] - 就業状況別

がん検診を受けなかった理由を就業状況別にみると、「現在、健康に問題はなく、必要性を感じないから」の割合は、通学のかたわらに仕事をしている人が78.3%で最も高く、次いで通学のみの人が75.0%と続く。

「時間がとれなかったから」の割合は、家事などのほかに仕事をしている人が26.9%と最も高い。

また、「検査がこわい(苦痛)から」の割合は、家事などのほかに仕事(10.1%)と家事(専業)(9.5%)をしている人が総数(5.9%)の割合よりも高くなっている。(表 -6-9)

表 -6-9 がん検診を受けなかった理由[複数回答] - 就業状況別

	総数	感じなく、健康に問題から	現在、健康に問題を感じないから	毎年受ける必要性を感じないから	いられるかわからな	検診をどこで受けたか	検査の対象者とな	検査がこわい(苦痛)	いすどのかわからな	た時間がとれなかつ	た仕事が終わらなかつ	から、結果が不安な	費用がかかるから	その他	無回答
総数	100.0 (4,103)	51.8	13.5	9.2	16.5	5.9	5.6	19.6	10.5	4.2	16.4	7.5	2.3		
就業者	100.0 (2,512)	52.4	12.1	10.5	18.6	5.6	5.9	25.0	16.2	3.7	17.6	4.9	1.9		
主に仕事	100.0 (2,014)	53.0	11.8	10.4	19.9	4.8	5.6	25.3	18.4	3.3	17.3	4.0	2.0		
家事などのほかに仕事	100.0 (376)	43.1	13.3	9.6	13.3	10.1	7.2	26.9	8.5	6.6	19.4	9.0	1.6		
通学のかたわらに仕事	100.0 (69)	78.3	8.7	18.8	13.0	5.8	4.3	15.9	2.9	1.4	13.0	5.8	1.4		
その他	100.0 (53)	60.4	17.0	9.4	11.3	5.7	7.5	11.3	3.8	3.8	20.8	7.5	-		
仕事を探していた	100.0 (99)	53.5	13.1	19.2	21.2	4.0	7.1	12.1	7.1	3.0	31.3	3.0	-		
非労働力人口	100.0 (1,471)	50.8	16.1	6.5	12.6	6.6	5.1	11.1	1.0	5.0	13.3	12.2	3.2		
家事(専業)	100.0 (740)	50.0	13.8	6.9	11.9	9.5	5.3	16.6	0.8	6.9	16.1	9.7	3.1		
通学のみ	100.0 (108)	75.0	11.1	13.9	24.1	3.7	6.5	13.0	3.7	0.9	12.0	5.6	0.9		
その他(幼児、高齢・病気等)	100.0 (623)	47.5	19.7	4.8	11.4	3.7	4.7	4.3	0.8	3.4	10.3	16.2	3.7		